

会長のページ 座右の銘	河野 雅行	3
日州医談 みんな『人生会議』しとこ	田畑 直人	4
新春随想(その2)		6
長沼弘三郎, 鳥原 康治, 畠中 道己, 遠藤 豊 宮尾 雄治, 田畑 直人, 石橋 俊秀, 大森 史彦 赤須郁太郎, 井藤 健		
エコー・リレー(606)	藤井 将人, 國武 歩	15
メディアの目 神楽の継承に思うこと	清藤 太輔	16
身近なお困りごと相談室	高山 桂	17
宮崎大学医学部だより 病態解析医学講座 - 放射線医学分野 - ...	東 美菜子	24
診療メモ がん免疫とがんゲノム医療の現在地 ～ノーベル生理学・医学賞 坂口志文先生の Treg研究がもたらした臨床的視座～	西田 卓弘	52
宮大医学部学生のページ 子どもを救う医療の現場で ～東京慈恵会医科大学小児科実習を通して～	永原 智実	54

あなたできますか?(令和6年度医師国家試験問題より)	14
宮崎県感染症発生動向	18
日赤だより	21
各郡市医師会だより	22
各種委員会(介護保険委員会)	26
各種委員会(医学賞選考委員会)	27
日医インターネットニュースから	28
医師国保組合だより	30
会員の異動・変更報告	32
理事会日誌	34
県医の動き	38
ドクターバンク情報	39
行事予定	43
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	45
ベストセラー	51
あとがき	62

お知らせ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)対策に関する連携協力協定締結	25
令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い	27
郡市医師会への送付文書	56
医療勤務環境改善支援センター	60
日州医事原稿募集のお知らせ	61

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

三色団子

宮崎市と志布志市を結ぶJR日南線では、さまざまな塗装のディーゼルカーが走行しています。昨夏に登場した、国鉄時代の朱色をまとった車両は特に人気で、ファンの注目を集めています。日南線では年に1度、「青島太平洋マラソン」が開催される日だけ3両編成で運転される列車があります。この日は運よく、活躍する3色が揃いました。

宮崎市 木佐貫 冬 星 (会員家族)

会長のページ

座右の銘

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

年を経るとさまざまな場面で「座右の銘」を問われる機会が増えました。馬齢を重ねたのではなくしっかりした理念の元に生きてきたのであろうと勝手に解釈されているのでしょうか。残念ながら今までは当座の事柄に追いまくられているばかりで、突然座右の銘を問われても考えてもおらずに返答に窮したことが再々あります。しかも、その言葉を色紙に書けと言われて悪筆の私は立ち往生してしまいます。今後に備えて、あらためて自分の信条なり、座右の銘を考えてみました。なんとか立派な言葉がないものかと考えましたが、なかなか思い付きません。

強いていえば「熟慮断行」でしょうか。それにしても失敗ばかりで反省しきりです。これはとても座右の銘とはいえません。笑話で“ある入社試験で【座右の銘！】を聞かれて、緊張していた受験生は「左右の眼」と勘違いして「右1.2左1.0」，【違う信条だよ，信条！】「はい身長は170cm」と答えたそうです”。少年期にはイソップなどの寓話や学校の授業でさまざまな教訓を与えられました。いくつかは今でも覚えています。それらは自分の銘とはいえません。大局的な見地から俯瞰して標語なり銘を述べたいところですが、なかなか浮かびません。孔孟の教えを始めとして、先人には立派なものが数多くあります。恥ずかしながら若い時分から多くの忠告を受けてきましたので、それならたくさんありますが、これらも座右の銘とは言い難いようです。欧米にも数多くあり、それぞれに奥深さがあるようです。偉人や各界の方々は立場に相応しい言葉を残されています。少し調べれば無数にありました。そのどれもが、納得できる語・フレーズばかりです。しかし、いずれもその人が発するから「サマ」になりますが、同じ標語でも私が述べてはジョークにしかありません。

企業の社訓、学校の校訓、団体のスローガン、旧家では家訓もあります。日医、県医、郡市医にも綱領があります。大震災や大災害の後には「絆」「結」などが多く語られました。よく耳にする言葉として「愛」「和」「友情」「有言実行」などがあります。私たちの年代で教えられた「克己」「勤勉」「努力」などは今の働き方改革からすればパワハラにつながる恐れもあり、時代に合わないかもしれません。

次に聞かれた際にはよどみなく応答したいものです。皆様の座右の銘はいかなるものでしょうか。

(令和8年1月19日)

日州医談



みんな『人生会議』しとこ

宮崎県医師会 理事 田 畑 直 人

はじめに

2019年に厚生労働省のポスターが炎上しました。お笑い芸人が扮した死の直前の患者が「まてまてまて 俺の人生ここで終わり？ 大事なこと何にも伝えてなかったわ」「あーあ、もっと早く言うといたら良かった！ こうなる前に、みんな『人生会議』しとこ」などつぶやくAdvance Care Planning (ACP) の啓発ポスターでした(図1)。「患者の不安をあおる」などの批判を受けてポスターの発送が中止される事態となりました。延命治療や死といったデリケートなテーマを扱う難しさを認識させられると同時に、「人生会議」という言葉が知られるきっかけにもなった出来事でした。



図1

「人生会議」は、ACPの愛称で、「もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて前

もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、それを共有する取り組み(厚生労働省)」のことです。これは、「どういう人生の最後を迎えたいか」を考え、周囲が本人の意思を尊重できるよう支援するための取り組みです。また、自分の意思を文書としてまとめたものがリビング・ウイル(事前指示書)です。意思表示の有無や内容によって「生き方、死に方」が大きく変わってしまう可能性があります。

背景と現状

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は、望まない延命治療が社会問題となっていたアメリカでの「事前指示書」の推進が始まりです。その後、「患者の意思と利益を関係者全員で支える」という対話型のACPへと発展してきました。日本では2018年に厚生労働省が「人生会議」という名称を付け、国の政策として普及を進めてきました。高齢化・多死社会を迎え、医療の人的・財政的資源が縮小していく中で、現在のような過度な延命治療を提供し続けることは困難であり、ACPの必要性和重要性が増すと考えられたからです。

さまざまな調査で、9割以上の高齢者が「延命のみの医療」は望まないと答えています。しかし、2023年の政府調査では、人生会議を「よく知っている」と回答した人の割合は5.9%にとどまり、実際に意思表示カードやリ

ピング・ウイルスを作成している人は3%程度という結果でした。欧米では個人の自律性と明確な意思表示が重視されるため、ACPが受け入れられやすい一方、日本で浸透しにくい背景には、死に関する話を「縁起でもない」とタブー視する文化があると指摘されています。

厚生労働省は、“人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン”を提示し、人生会議の実践を支える根拠としています。また、2024年度の診療報酬改定で、「患者の意思決定支援を行う指針を定める」ことが入院料の算定要件となり、人生会議普及への制度的後押しを始めました。宮崎市でも「わたしの想いをつなぐノート」の普及に努めていますが、人生会議に対する行政および医師会をはじめとする医療関係者の理解と取組みは、まだ十分とは言えない状況です。

それぞれの立場での人生会議

患者：療養病棟などには、経管栄養によって水分や栄養を補給され、意識のないまま寝たきりの状態で長期間存命した後に亡くなる方が多数おられます。望まない終末の姿を回避するためにも、自分の価値観や延命治療に対する考えを周囲に伝えておくことは、自らの尊厳を守るうえで非常に重要なことです。また、自分の死後に遺される家族のことや、残された人生の過ごし方を考えるよい機会にもなるでしょう。

家族：本人の意思が不明のまま延命処置の判断を求められる家族は、「これで本当によかったのか」という悩みや葛藤、後悔など、大きな精神的な負担を抱えることとなります。事前に本人の希望を共有しておくことでその負担は軽減され、希望が尊重できたことによって遺族の満足度が高くなるというデータもあります。ま

た、話し合いの過程で家族間の理解が深まり、いわゆる「カリフォルニアから来た娘症候群」などのような意見の相違や衝突を減らすことも期待できます。

医療者：救急医療や終末期医療の現場では、患者の意思が不明瞭な場合がほとんどです。そのため、延命治療について家族に説明し判断を仰ぐ必要があり、医療者にも大きな心理的負担が生じます。「これが本当に患者さんのためなのか」と戸惑いながらも、一度開始した延命処置を中止することは容易ではありません。延命治療を行わない場合の法的リスクや家族の反応を懸念する医療者も多く、終末期医療における判断を萎縮させている現状があります。高齢者救急の増加への懸念から、日本救急医学会を中心に「高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言2024」が発出され、ACPの重要性が広く訴えられています。

最後に

急速な高齢化・多死社会を迎え、終末期医療や延命医療の在り方が問われています。自分が望む生き方・死に方、そして尊厳ある人生の終わり方を叶えるためには、自らの意思を明確に周囲に伝え、記録として残しておくことが重要です。死に関わる話題を「縁起でもないもの」から、「家族の絆を深めるもの」へととらえ直し、日常的に語れる社会が望まれます。延命治療の中止や事前申告制度、医療費を含めた現役世代の負担軽減などについても、タブーを設けず、国民全体で議論していく必要があります。

「人生会議」は、これからの医療や社会の在り方を考えるうえで重要な鍵となる取組みです。医師会をはじめとする医療関係者にも、より積極的な啓発活動が求められています。

新春随想

その2

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

ブレインフォグ

なが ぬま こうざぶろう
延岡市長沼医院 長 沼 弘三郎

毎日“せんでいいこつぱっかりしちえ”時間を無駄にしている。ほんに時が経つのは“はえ”もんだ。今回も「新春随想」の原稿募集の締め切りが迫って、この期に及んだ。仕方ない。今日一気呵成に文章を仕上げよう。

この夏に“コロナ”に罹ってから物覚えが悪く、考えが浅くなり、どうにも頭がスッキリしなくなった。なんとも言えない首筋のこりと眠れないことがあわさって、どうやら“ブレインフォグ”みたい。特に長文を“噛み砕く”のに骨が折れ、医学雑誌の文献を読むのはもつての外。現代詩、短歌、俳句などを味わい、現代アートを鑑賞するのも億劫になった。この方面ほぼ全部“ポイ”だ。“老の繰りごと”すら止まった。どうしたもんか。“コロナ”のせいばかりではなさそう。もうろくが始まったのかな。

若者文化に背を向けていたから仕方ないが、タバコの煙が嫌でパチンコ、麻雀、カラオケ、スナックや飲屋通いなど年齢にあった“通過儀礼”とは無縁だったせいもあろう。失われた事物へのノスタルジアに浸るばかりで、時代の変化に追いつけない今の我がここにいる。“15, 30, 60歳といつまでたっても世渡り下手。おかげで私の人生暗かった。“夢は夜だけ

ひらく”って体たらくにも遠因がありそう。

さて病気になってハッと気づいた。怪我の功名だ。これを機会に頭を整理し“しゃん”となろうかと。また眠れぬ夜はどうしたもんか。試しに枕元に気に入った本を取りやすく並べてみた。

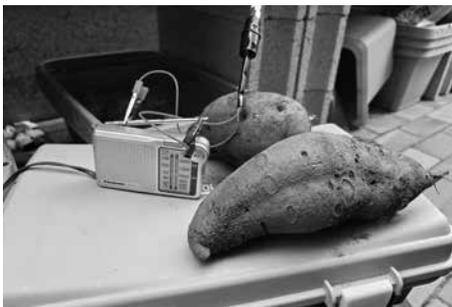
まずは「言の葉配色辞典」(インプレス)だ。ページをめくると、例えば“恋風”の言葉に絵と写真があわさって配色され見栄えがし、いろんなことを連想してホッコリホッコリだ。次は「三ヶ日町水鳥の会俳句歳時記」。以前福岡の俳句結社で手に入れた大型本。季語、解釈文と例句が並記され添えられた写真とあわさり、“三拍子”揃った図録を見るようだ。例えば“都忘れ”の季語を探して本を閉じても残ったほんわかした気分は“満艦飾”に彩られる。残りは「日本語と色の風景」オーラルビジュアルブック7冊(青菁社)。それぞれの冊子は、文字、言葉、心、暦、色の項目で風景写真が並置され、バラバラとページをめくると次々にめばしい目立った言葉と四季折々のカラー写真が目に入る。“絵解き歳時記”のできばえだ。次の画想をねっていると夢の中。“秘すれば花”の境地で寝入れる。これでもって“ブレインフォグ”ともおさらばだ。

これって何。手元読書ならず手元供養ならん。

サツマイモとラジオ

高鍋町 たかなべ耳鼻咽喉科クリニック 鳥原 康 治

毎年秋になると従業員、児湯医師会事務局と准看護学校の職員の方々に焼き芋を差し入れています。昨年は5月連休に庭の10畳分くらいの畑を耕して、肥料を入れました。3週間なじませてから畝を作り、マルチシートを3列張り、ナフコで注文した紅はるかの挿し穂（挿し苗）を28本分入手して、斜めに突き刺す斜め植えをしました。苗は植え付け前に3日間日陰で萎れるまで放置、前日にバケツの水に浸けて吸水させます。収穫ですが、雨が続いて収穫すると芋が腐りやすく貯蔵性が悪くなるので、晴天が続いた後に収穫しなければなりません。10月は雨の影響もあり、ようやく11月2日に収穫できました。ツルの天地返しができなかったので個数は予想より少なかったのですが、写真にありますようにかなりの大きさです。甘みを増すために収穫後1か月くらい倉庫で寝かせて、我が家の芋の食べごろは12月から1月になります。



メダカ世話や庭仕事に、時計代わりに携帯ラジオをよく聴きます。家は高鍋町役場の近くですが、写真のパナソニック製携帯ラジオではFM放送がロッドアンテナを伸ばしてもうんともすんと音も音がせず、AM放送しか聴かせ

ませんでした。しかもザーザーと雑音が混じります。そこで、外部アンテナをつなぎたかったので、外部接続端子のないポータブルラジオのロッドアンテナに外部アンテナをクリップONで接続する変換ハーネスをアマゾンで見つけて、FMアンテナとともに購入しました。写真のようにアンテナを物干しに設置し10mの同軸ケーブルで延長して、作業するスペースで携帯ラジオにつないでみました。全方向性の外部アンテナなので感度がとても上がり、FMは全局クリアに聴けるようになっただけでなくAMでさえ雑音が多かったものがクリアに受信できています。しかも、他県や隣国のAMまで受信できるのは意外でした。アンテナは小さく見た目もなかなか気に入っています。



500円玉と歩む

三股町 畠中小児科医院 はた なか みち き
畠 中 道 己

500円玉が発行されて44年。偽造防止のため2回デザイン変更があり、現在流通している硬貨は3代目になるそうです。今後キャッシュレス化の流れで、貨幣発行枚数の減算も噂されております。最初に前置きしておきますが、私はレア年代硬貨や記念硬貨のコレクターではありません。私と500円玉の歩みを振り返りたいと思います。

出会い 初めての出会いは小学5年生のころ。父親から手渡され、その大きさと重厚感のあるデザインに感動を覚え、学習机に大事に保管していた記憶があります。いつの間にか紛失しましたが。

大学時代 時が流れ出会ったころの想いはなくなりました。某日、TV番組で500円玉貯金をしている芸能人に影響を受け、百均で貯金箱を購入しなんとなく貯金を開始しました。しかし、大学卒業時の引越しの際にとっても邪魔になり、パチンコ屋で紙幣に換金してもらおうと資金とし全額勝負しましたが、1回も大当たりを引けず勝負の神様を恨んだ苦い経験があります。

医師になって 空っぽの貯金箱が複数個残ったままで捨てられず、習慣とは怖いものでいつの間になんとか貯金を再開しました。ただ学生時代と違い、お金の使い途が比較的自由になり、硬貨で財布が膨らみ嵩張ることを嫌い、徐々に別種類の金種もメンバーに加わり分別された貯金箱は増えていきました。

平成の終わりごろ 銀行に立ち寄った際、窓口のお姉さんに貯金箱の硬貨を預金したいことを相談したところ、その答えは『まず自宅で数え

てから持ってきてください』と淡々と言われました。今やパチスロのメダルすら遊戯台に座ったまま自動計数可能な時代なのに、貯金箱の解体とその計数作業は途方もない作業なので試みるつもりはありません。

これから 現在も硬貨貯金は継続中です。小生には善意の募金をするという心意気は残念ながらございません。近い将来、我が子が大学生になったら、金銭感覚を学ばせるために少しずつ使ってもらおうか、と考えております。一人暮らしで金欠でも500円玉2枚あればその日の食事にはありつけるだろう、という親心です。

台湾旅行記

宮崎市 おおつか生協クリニック えん どう ゆたか
遠 藤 豊

11月21日、宮崎から台北へ到着後、そのまま新幹線（日本製）で高雄へ移動。南国の空気を感しながら最初に向かったのは、大港橋。港にかかる優雅な白い歩行者橋は、美しい曲線と開放感が魅力で、海風に吹かれながらの散策が心地よかった。夕暮れには、ライトアップされ美しかった。続いて訪れた美麗島駅では、世界でも屈指の美しいステンドグラス天井「光之穹頂」に圧倒された。色鮮やかな光が空間を包み込み、駅とは思えない幻想的な雰囲気にしばし見入ってしまった。

2日目は高雄で、まず蓮池潭へ。青空の下にそびえる龍虎塔は迫力があり、龍の口から入り虎の口から出ると「福が訪れる」とされる縁起のよい参拝方法も体験した。バスで台南へ向かう。最初に訪れたのは奇美博物館。西洋風の外観と内装、そしてそれを囲む美しい公園など、台湾でも有数の総合博物館で周辺には湖のある大きな公園がある。続いて鄭成功を祀る延平郡王祠へ。民族の英雄として敬われる彼の功績に触れ、台湾の精神的なよりどころを垣間見ることができた。さらに赤崁楼ではオランダ統治時代の歴史が残る赤レンガの建物と静かな中庭が印象的で、台南が“台湾の古都”と言われる理由を実感した。夕刻に再び高速道で北上し、パーキングエリアのトイレの空室状況をパネルで知らせるシステムにビックリ、IT化の活用でしょうか。台北の名門・円山大飯店へチェックイン。重厚な赤い外観と豪華なロビーに旅の気分が一気に高まった。夜は士林夜市を散策し、屋台グルメは見学だけで、セブンイレブンでビールとカップラーメンを購入した。

3日目は台北市内観光からスタート。まず忠烈祠で衛兵交代式を見学。無駄のない動きと緊張感ある空気が印象的で、思わず息をのみながら見守った。続いて故宮博物院へ向かい、翠玉白菜や肉形石といった名宝を鑑賞。展示のスケールに圧倒されつつ、ガイドの丁寧な解説で理解がより深まった。午後は九份へ。細い山道をバスが高速で登り、細い坂道に赤い提灯が灯り、霧がかかった街並みは何度見ても胸が高鳴る。レストランで台湾ビールと最後の中華料理の晚餐だった。

4日目、帰国するのに3時起きだったが、2時ぐらいから、右側腹部痛を感じ、冷や汗をか

き、尿管結石のようだった。中華三昧と水分摂取不足の脱水で発症したものと考え、水分摂取、漢方薬+鎮痛薬でしのいで、帰国した。

南から北まで駆け抜けた4日間は、台湾の歴史・文化・食の魅力がぎゅっと詰まった忘れがたい旅となった。台湾有事など起こらずに、平和な島であってほしいものだ。



秋の金沢 町ブラで思うこと

川南町 国立病院機構宮崎病院 宮 尾 雄 治

11月初旬、金沢にて国立病院の学会と会議があり参加してきた。立冬を迎え、暦の上では冬なのだが、今年の長く厳しい夏の名残か、豪雪地帯のイメージがある北陸にてもあまり寒さを感じず、コートを着ている人はほとんど見ないくらい、穏やかな秋の日を感じ気持ちよく過ごすことができた。また同時期カニ漁の解禁を迎え、金沢のブランド蟹は、ズワイガニのオスを「加能ガニ」、メスを「香箱ガニ」と言うらしいが、今回は学会関係の会合などあり、食べることはかなわなかった。元より高級料亭など不慣れで居酒屋の方が落ち着くし、懇親会やホテルの朝食会場で北陸ならではの食材（ノドグロやイカ、えび、金沢おでんなど）は食することができたのでまあ満足と言っている。還暦もとうに過ぎたが、日本の中でもまだ行ったことのない県が数多くある。仕事上学会などで訪れる場所は大体決まっており、体が動くうちなるべく行けていない県をプライベートで旅行してみたい、そしてその土地の風情、名物料理を体験してみたいとあらためて思った。散歩を趣味と言えるかは微妙だが、知らない土地の町ブラは好きなので学会や会議の空き時間に金沢市内を散策した。日本三大庭園の1つ兼六園にも行き、紅葉の季節にはもう少しの状態だったが、整備された公園の水路や木々に触れ、心落ち着く時間を過ごすことができた。体感的には冬はまだ先に思えたが、園内の大きな唐崎松は、大雪からの枝折れ防止のための「雪吊り」はしっかりと完成していた。他、大きな松の古木では地面から支柱で多くの枝を支えてあった。人間

でも年老いたら支えが必要だし、災害に備えるのと同様、病気にならないように備える（予防する）ことが、病気を治すことより大事なよなあと、大切に保護されている松の古木を見て感じた次第である。

寒いのは苦手なので今ぐらゐの季節に、数年後今度はうちのカミさんと一緒にカニ食べに能登めぐりでもしたいなと思います。

“いざ、旅へ”

宮崎市 宮崎医療センター病院 田 畑 直 人

開運橋から北西を望むと、川べりの大きなシロヤナギの向こうに、岩手山が美しくそびえている。北上川の流れは速く、柔らかな陽光を浴びながらも、川面は激しく波打っていた。これが、啄木が郷愁にかられたふるさとの風景かと、寒風にさらされながらしばらく眺めていた。

初めて訪れた晩秋の盛岡だった。往きは「はやぶさ」のグランクラスを利用した。専用車両のゆったりとしたシートで、軽食や「南部美人」をコンシェルジュに運んでもらい、ほろ酔い加減の優雅な2時間半の車窓旅だった。

念願の中尊寺を訪れた。急勾配の月見坂を上りきると、今が盛りの紅葉に目を奪われた。遠くには衣川の古戦場跡が見え、「夏草や 兵どもが 夢の跡」と芭蕉が詠んだ景色に、人の世の儚さを想った。金色堂は、仏像も金箔で覆われており、当時の工芸技術が結集された豪華絢爛な造りだった。さらに、藤原氏四代のミイラが安置されていることもあり、神秘的だった。

帰りには、名勝・狛鼻溪の川下りを楽しんだ。哀愁を帯びた船頭の舟歌を聴きながら、落葉とともに溪谷をゆったりと下った。絶壁に「願掛けの穴」と呼ばれる穴が開いており、運玉が入れば願いが叶うと喧伝されていた。船頭が、「慰安旅行で鶴戸神社さ行ったときな、“運玉投げ” ちゅうやつ、パクってきたんず」のようなことを言っていた。「うんだまんじゅう」まで売っていた。名物のわんこそばは、「吐くからやめとけ」と地元の人に止められた。

旅には4つの力が必要だ。旅に出ようという気力、歩いたり遊んだりする体力、歴史や文化に対する知力、そして少々の贅沢をしても心が痛まない財力である。幼いころは知力がなかった。学生のころは財力がなく、ヒッチハイクの貧乏旅だったが、人の情を知った。子育てのころは仕事で疲れ果て、旅への気力も湧かず、財力も乏しかった。子どもたちが巣立った今、気力・体力・知力・財力のバランスがほどよく整ってきた。が、残り時間は少ない。

いざ、未踏の地へ！ まずは、熊野古道、立山黒部、冬の乳頭温泉、知床へ――。

みやざきグルメ&ランタンナイト inフローランテ宮崎

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

令和7年8月9日(土)の午後8時ごろにフローランテ宮崎に行った。8月1日(金)~17日(日)の17日間の16:00~21:30までは、みやざきグ

ルメとランタンナイトが開催されている。大人の入園料は600円だった。入口には色とりどりの金魚型のランタンがぶら下げられていた。

暑さ対策として、入口で団扇を貰った。また、扇風機でミストを飛ばしていて、過ごしやすくなった。中に入るとたくさんのランタンが目に入った。園内の至る所にドーム状にランタンが飾られ、飲食を楽しむ家族連れが多かった。中央に約20mのタワー状にランタンが飾りつけられていた。写真撮影を試みたが逆光になって上手に撮れなかった。事前の新聞情報によると、約1万個あるそうだ。

ステージに目を向けると、芸能人たちのパフォーマンスが見られた。左回りに1周してみた。最初に「スイーツストレート」が目についた。苺アルプスというかき氷が美味しそうだった。

全国グルメ博2025のパフレットによると『焼きそば、クレープ、お好み焼き、肉料理、中華料理、飲み物や冷菓など』、約60店が出店しているそうだ。それらの中から、私はハーフランク、マンゴー・アサイーボウル(マンゴー、イチゴ、バナナマンゴーとチョコが入った冷菓)、岩ガキと宮崎牛&フライドポテトを買って食べた。とても美味しかった。

8時30分ごろ、数十発の花火が上がり、祭りを盛り上げていた。ぱっと見、数千人の人で賑わっていた。



乳頭温泉に行ってきました

高鍋町 大森史彦

昨年秋、乳頭温泉「鶴の湯」に行ってきました。温泉療法専門医である坂田師通先生が強くお勧めする秘湯です。

予約は「日本秘湯を守る会」のHPからです。毎日HPを見ますが常に満室状態で、諦めかけていました。あるとき、突然空きがポコンと出て予約することができました。

喜びも束の間、秋田県での熊の出没や被害のニュースが毎日流れ、行かない方がいいのか悩み、「秋田県クマダス」をチェックする日々が続きました。「行きたい、行きたい」気持ちが勝って、11月予定どおり乳頭温泉へ向かいました。秋田新幹線で行きますが、盛岡からは単線の田沢湖線を利用した新幹線です。岩手・秋田の県境にさしかかると、熊がいつ出てもおかしくないぐらい、山が深くて険しくなります。電車はゆっくりと進みます。

ようやく鶴の湯に到着。はやる気持ちを抑えてまずは混浴露天風呂に入りました。硫黄の匂いが立ちこめる乳白色のお湯で、最高の気分です。足元からはブクブクと源泉が湧いています。ちょうど雪が降り始め、辺り一面雪景色、山の木々は雪で樹氷となり、雪のない県から行った私たち夫婦は思わずはしゃいでしまいました。ただ、いつ熊が出てくるか不安があり、つい山の方をキョロキョロ見つめてしまいました。鶴の湯には白湯、黒湯、中の湯、滝の湯と、4種類の泉質の異なる源泉があるそうです。いろいろな温泉に入り、普段温泉宿に泊まっても2回ぐらいしか入らない私ですが、5回以上温泉を楽しみ、翌日には朝風呂も堪能しました。お客の半分は外国の方で、こんな不便

な所までよく調べて来るものだと感心しました。

旅の楽しみの1つは食事です。鶴の湯では昼に座ってお膳でいただきます。珍しいイワナの刺身があり、東北で有名な芋煮は山で採れたキノコや山菜がいっぱいで、よい香りがしていました。食べきれないほどのお料理でしたが、美味しくて完食しました。

部屋にテレビもなく、お風呂に入るしかすることがない秘湯。帰ってから1か月になります。がまた行きたくなって、宿の空き状況をチェックするこの頃です。次はいつ行けるかなあ。

邪馬台国は筑後地方でなければならない理由

延岡市 延岡共立病院 赤須郁太郎

吉野ヶ里遺跡に行ってきました。弥生時代の環濠集落ですが、先をとがらせた杭が環濠のあちこちに埋めてあり、さながら針のむしろのようで異様な光景でした。いったい何から集落を守っているのか…同じ日本人同士でそこまで争うのか？ その日からその光景が頭から離れず、ずっと理由を考えていました。

ある日、西部劇を思い出しハッとしました。環濠集落は渡来人の集落、要するに縄文人が住んでいる中に外国人がやってきて田んぼを作り、圧倒的にカロリーの高い米を食べる…言えるならばアマゾンに日本人が集落を作るようなものでしょう。あの杭はムラどうしの争いではなく、言葉も習慣も異なる原住民、縄文人から集落を守っているのだと気づきました。

邪馬台国は南の狗奴国と戦っていると魏志倭人伝に書いてあります。つまり縄文人のクニと敵対しているのです。九州でも縄文人の遺伝子

を色濃く残すのは熊襲，隼人がいた熊本県，鹿児島県です。つまり邪馬台国はその北，筑後地方か柳川などの有明海に面したあたりでなければなりません。

魏志倭人伝に倭人は刺青をして海に潜り魚をとり，はだしで歩くと書いてあります。これは南方の文化で渡来人の文化ではありません。シャーマンも縄文の文化です。つまり邪馬台国は渡来人がある程度縄文人と交わって構成された最初の日本人ともいべき存在ではないでしょうか？

ちなみに大和政権は，完全に渡来人のみで構成されているせいか，律令や武器，階級制など社会構成がシャーマニズムとは異なります。

邪馬台国は九州，しかも筑後川流域か，さらに南の柳川付近でなければならないと思うのです。要するに筑後地方でなければ成立しません。

しかし後世，その痕跡は残っていません。おそらく大和政権によって消されたのだと思います。自分たちこそ九州から出てきた正当な政権であることを主張するために。

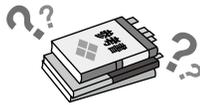


カプセルトイという小さな宇宙

日南市 井藤耳鼻咽喉科 いとう 井藤 たけし 健

カプセルトイは，通称ガチャガチャやガシャポンといい，あの球体の中には時代を超えた人

の心を掴む何かが詰まっている。私にはノスタルジックな気持ちと，現代技術が融合した小さな宇宙のような存在である。子どものころ，駄菓子屋や商店の軒先に並ぶ色褪せた機械は勝負事への入口であった。悩んだ末，10円玉を入れ期待をしながらハンドルを回す。ガチャガチャという音のあとにコロんと落ちてくるカプセルを開く。期待は不確かな期待へと変わっていく。中身はプラスチックのチープな玩具で，小さい怪獣のフィギュア，虫のようなフィギュア，それらを粘土にくっつけて銀玉鉄砲的にするなど，何かしらの工夫をして遊んだ記憶がある。大当たりは一度だけで「キーライト」。微妙な嬉しさだった。成長しても不確かな期待は尽きることなく，景品付きお菓子など幅が広がっていった。令和時代のカプセルトイは一つの市場として進化している。おもちゃという表現ではなく，精巧なミニチュア。コラボレーション企画，アニメ公式ライセンス企画，生活雑貨など多岐にわたりターゲットが子どもから大人へと変化し，価格も高価な設定になってしまった。お値段以上の価値があり，フルコンプリートを目指す大人たちもいる。私は並べて美しいと思うものを計画購入し，無駄遣いを減らしている。ここ数年，全年齢層がターゲットとなるキャラクター（たまごっちなど）コラボレーション企画が出現，大人気で即日完売だそう。昔と今とではカプセルトイに対する環境は大きく変化している。だがあの機械の前で感じる，次は何が出る？ 同じものは出るな！ 開けるときのドキドキ，ワクワク感は何十年経っても変わらない。不確かな期待が今では期待に変わり，収集という名目ができた。この小さな宇宙の観測は続くだろう，だが観測前にデータ収集が必須となったと付け加えておく。



あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は33ページ)

- 自己免疫性膵炎で誤っているのはどれか。
 - 膵の萎縮を認める。
 - 高齢男性に好発する。
 - 病理で線維化を認める。
 - IgG4関連疾患に含まれる。
 - 治療はグルココルチコイド投与が第一選択である。
- 疾患とその俗称の組合せで正しいのはどれか。
 - 鶏眼 ————— うおのめ
 - 色素性母斑 ————— とびひ
 - 水痘 ————— みずいぼ
 - 麦粒腫 ————— そばかす
 - 風疹 ————— はしか
- 動脈採血に最も適しているのはどれか。
 - 総頸動脈
 - 鎖骨下動脈
 - 尺骨動脈
 - 大腿動脈
 - 膝窩動脈
- 健康日本21（第3次）で目標とされていないのはどれか。
 - 健康経営の推進
 - 救命救急センター数の増加
 - メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加
 - 利用者に応じた食事提供をしてくれる特定給食施設の増加
 - 「居心地がよく歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む市町村数の増加
- 医師法で5年間の保存義務が規定されているのはどれか。
 - 紹介状
 - 処方箋
 - 診療録
 - 看護記録
 - エックス線写真
- 3歳児健康診査で難聴が疑われた児に実施する精密検査で適切なのはどれか。
 - 語音聴力検査
 - 自記オーージオメトリ
 - 純音聴力検査
 - 聴性脳幹反応〈ABR〉
 - ティンパノメトリ
- 24歳の女性。総合病院の救急外来に勤務する看護師。2年前に入職してから救急外来での勤務を続けている。医師の処置の介助をしていたところ、突然呼吸困難が出現したため診察を受けた。意識は清明。体温36.4℃。脈拍96/分、整。血圧116/72mmHg。呼吸数22/分。SpO₂98%（room air）。胸部で広範に喘鳴を聴取する。短時間作用性β₂刺激薬の吸入で速やかに改善した。既往にアトピー性皮膚炎と喘息があり、副腎皮質ステロイド吸入薬で治療を受けコントロールは良好である。職場で処置中に同様のエピソードが複数回あった。血液所見：赤血球435万、Hb14.0g/dL、Ht42%、白血球6,300（好中球62%、好酸球3%、単球5%、リンパ球30%）、血小板25万。免疫血清学所見：IgE188IU/mL（基準170以下）。ラテックス特異的IgEが異常高値であった。適切な対応はどれか。
 - 離職
 - 配属部署の変更
 - 処置時の手袋の変更
 - 抗IgEモノクローナル抗体の投与
 - 副腎皮質ステロイド吸入薬の増量
- チーム医療で正しいのはどれか。
 - 事務職員も参加できる。
 - 医師の指示が最優先される。
 - 医療機関の経営業績の向上が目的である。
 - チーム全員の意見が一致する必要がある。
 - 単一の医療機関内で完結することが推奨されている。
- 世界保健機関〈WHO〉の目的で正しいのはどれか。
 - 疾病の国際的伝播を最大限防止する。
 - 人道的かつ秩序ある移住を推進する。
 - 開発途上国の経済・社会の発展、生活水準を持続的に発展させる。
 - 世界中の子供たちが「子供の基本的人権」を享受できるようにする。
 - 人々が健全で活発な生活を送るために十分な量・質の食糧を供給する。
- 38歳の褥婦。産後1か月の健診のため来院した。初めての児を1か月前に経膈分娩した。体温36.5℃。脈拍80/分、整。血圧126/76mmHg。子宮復古は良好で、悪露は正常であった。母乳哺育を行っているが、うまくできているか心配でよく眠れない。本人、夫ともに兄弟姉妹はおらず、両親は他界している。最近、転居したため、周囲に親しい友人はいない。エジンバラ産後うつ病質問票〈EPDS〉は14点（基準8点以下）であった。児は、出生体重3,096g、発育は順調である。適切な対応はどれか。2つ選べ。
 - 抗精神病薬を処方する。
 - 精神科への受診を提案する。
 - 児と分離することを目的に本人を入院させる。
 - 本人の同意を得て市町村に患者情報を伝える。
 - 母乳哺育を中止し人工乳哺育にするように指導する。

エコー・リレー

(606回)

(南から北へ北から南へ)

身近な相談の場として

宮崎市 ふじい腎泌尿器科クリニック 藤 井 将 人



このたびご縁をいただき、宮崎市大島町に「ふじい腎泌尿器科クリニック」を開院いたしました。これまで基幹病院において泌尿器科診療に携わる中で、「もう少し早く受診していただ

ていれば」と感じる場面を幾度となく経験してまいりました。泌尿器科は症状があっても受診をためらわれがちな診療科ですが、その敷居をできるだけ低くし、思い立ったときに受診できる場をつくりたいという思いが、開業の原点です。外来診療の中で、患者さんが何気なく口にされる一言に、はっとさせられることがあります。

「症状のことだけでなく、まず話を聞いてほしい」「自分の気持ちを分かってほしいと思っていた」—— そうした声に触れるたび、受診に至るまでの時間の長さや、その間に抱えてこられた思いに、あらためて気づかされます。

当院では泌尿器科診療を中心に、日常診療でよく遭遇する内科疾患にも対応し、「まずはここに相談してみよう」と思っていただけのクリニックを目指しております。検査から診断までを可能な限り院内で行い、必要に応じて専門的医療が可能な医療機関へ速やかにご紹介するなど、地域医療の一翼を担えればと考えております。

開院間もない日々ではありますが、日々の診療を通して地域医療の重みを少しずつ感じております。今後も医師会の先生方との連携を大切にしながら、一つひとつの診療を丁寧に積み重ねていきたいと思っております。

[次回は、宮崎市の西本紘嗣郎先生にお願いします]

私の推し活

宮崎市 宮崎市郡医師会病院 國 武 歩



本稿の執筆前に日州医事を拝読させていただいたところ、高崎眞弓先生（宮崎大学前麻酔科教授）の旅行記が掲載されており面白く読ませていただきました。

楽しく旅行されており、私も日本全国を車で廻りたいと思いました。

新型コロナが落ち着き、熊騒動もありキャンプブームは一時期の賑わいから落ち着いてきています。私はブームのころキャンプにはまり、道具を買い揃え、失敗も重ねて今のスタイル（小さいテントでソロキャンプ）に落ち着きました。さて本題の私の推し活ですが関西在住の女子ソロキャンパーさんの動画が大好きで、その方がよく行かれる滋賀県のマキノ高原、遠征で行かれる瀬戸内方面にまねして遠征キャンプ（聖地巡礼）をしています。最近の動画は小豆島でキャンプをされていました。ちなみに小豆島、北海道の奥尻島等々、島には熊はいないようです。九州にも熊はいないとされているので安全面を考えるとわざわざ遠くまで行く必要はないのですが推し活なのでお許しください。また、少し前にヒロシのぼっちキャンプで有名な芸人のヒロシさんがキャンプした場所の同じサ



イトでキャンプができてテンション爆上がりでした。通常の観光地巡りとは少し違い、あまり見る事のない景色をゆっくり見ることができるとはまる要因かもしれません。まだマイブームは続きそうです。

[次回は、日向市の中平 孝明先生にお願いします]

メディアの目



神楽の継承に思うこと

MRT宮崎放送 報道部長

きよ ふじ たい すけ
清 藤 太 輔

昨年末、高原町の祓川神楽を鑑賞した。祓川神楽は400年ほど前にはすでに行われていたと言われている。それを地域の人々が脈々と現代までつないでいる。大人だけではなく子どもも代わる代わる舞を奉納していた。子どもが真剣を使った舞を奉納した際は、神楽殿に緊張感が立ち込め、舞が終わるとその空間が歓声に包まれた。神楽は夜から始まり翌日朝まで続けられたという。私は午前2時でお暇したが。

去年11月、全国各地の神楽がユネスコ無形文化遺産の登録に向けて提案されることが国の審議会で決まった。宮崎県は全国組織の先頭に立って活動してきただけに、関係者の喜びはひとしおだと思う。また、各地で神楽を継承している人たちにとっても大いに励みになったと思う。2028年に登録の可否が決まる見通しとなっている。

ただ、この神楽を保存・継承していくことは決して容易なことではない。人口減少と少子高齢化にともない各地で神楽の舞手が減っている。特に山間部では若者の流出が続いていて、舞手は高齢者が中心となっているところも少なくない。

こうした中、木城町中之又では珍しい形で若者に神楽を継承している。中之又で暮らしているのは30人ほどの高齢者で、とても地元の人だ

けでは神楽が成り立たない。ここで神楽を奉納しているのは、地元の人たちと元山村留学生たち。子どものころに山村留学生として中之又の小学校に通っていた人たちが、現在でも神楽が行われるたびに中之又に戻ってきて神楽を奉納しているのだ。20年～30年前に小学生だった元山村留学生たちは、卒業した後もたびたび中之又を訪れ神楽を舞っているという。なぜ中之又に戻ってくるのか、元山村留学生にMRTの取材班が聞くと「当たり前のこと」「普通に続けているだけ」という答えが返ってきた。お正月を祝うのと同じような感覚だという。また、自分の子どもとともに中之又を訪れている元山村留学生は「本当に中之又が好き。自分の子どもを含めこの楽しさを共有したい」と話した。中之又集落そのものの魅力、中之又神楽そのものの魅力が若者たちを惹きつけているのではないだろうか。

宮崎県の人口は来年には100万人を割り込むと予想されている。人手不足は、伝統文化だけではなく、医療福祉、農業、建設、運輸など、さまざまな産業で課題となっている。中之又の事例が何かのヒントにならないか。元山村留学生の「当たり前」「普通」という言葉の重みを感じている。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第54回 診察後の疼痛訴え：謝罪，診療費，損害賠償対応



Q.

50歳代の女性が右肋骨部痛で来院し、特に強くない力で肋骨を押さえる診察を行ったところ、以前とは異なる強い疼痛が出現したと訴えられました。XP上骨折はないものの、閉経後骨粗しょう症が発症する年齢で骨が脆く、微細な損傷が生じた可能性はあります。今後の対応として「謝罪し診療費を頂かない」のか、それとも、通常の診療行為のため「口頭では謝罪するが診療費を頂く」のか、どう対応するのが適切でしょうか。また、損害賠償請求された場合はどこに相談すべきでしょうか。

本件は、診察行為にともなって患者さんが新たな疼痛を訴えたという点で、医療安全・医療紛争の観点から慎重な対応が求められます。

まず、診察時に肋骨を押さえる行為は、右肋骨部痛の原因を確認するための通常の身体診察に含まれるものであり、特段に強い力を加えたわけではない以上、医学的に相当性を欠く行為とは言い難いでしょう。閉経後骨粗しょう症の可能性があり、結果として微細な損傷が生じた可能性が否定できないとしても、「通常の診療行為を相当な方法で行った結果、予見困難な症状が生じた」場合には、原則として医師の過失は否定されます。ただし、当該骨粗しょう症を発症していることを医師が治療前に知っていたか否かによってここは判断が分かれる可能性が十分存在します。

次に、実務的対応として、私は「口頭で謝罪し診療費を頂く」ことが基本的な対応と考えられます。すなわち、患者さんの不快な経験や疼痛に対して丁寧に説明し、心情に配慮した言葉としての謝罪は行いつつも、安易に無償対応とすると、医療側が過失を認めたと誤解され、後日の紛争を助長する危険があります。もっとも、患者対応としては、疼痛の経過観察や必要に応じた追加検査、骨粗しょう症の評価・説明など、医学的フォローを丁寧に行うことが極めて重要です。記録（カルテ）にも、診察内容、力加減、患者の訴え、説明内容を客観的に残しておくべきでしょう。

次に、損害賠償請求やクレームが顕在化した場合、医師賠償責任保険の適用を検討する必要があります。これを無理に医師が自己判断で誤った初動対応を行うと、本来責任のない事案でも紛争が拡大しかねず、また保険の適用が受けられなくなる危険があるため、医師会の医師賠償責任保険に加入されている場合には、医師会へ速やかに医療事故事例としてご相談されることを強くお勧めします。そのうえで、医療紛争に詳しい弁護士が選任され、その後の対応は弁護士が行うこととなります。

近年は患者意識の多様化により、治療行為への不満が直ちに法的責任追及に結び付くケースも増えています。「丁寧な説明」「共感的な謝罪」「法的責任の線引き」を意識した対応が、今後の医療機関防衛の観点から重要といえるでしょう。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問，質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～12月～

令和7年12月1日～令和7年12月28日（第49週～第52週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核17例（男性5例・女性12例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。無症状病原体保有者であった。年齢は40歳代で，原因菌はO28（VT1）であった。

4類：○つつが虫病14例：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。

○日本紅斑熱1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は女性であった。主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，主な症状として尿路感染症がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，病原体は*Balamuthia mandrillaris*であった。主な症状として発熱，頭痛，嘔吐，意識障害，髄液細胞数の増加がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状としてショック，肝不全，腎不全，DIC，中枢神経症状等がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で無症候性キャリアであった。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。年齢はいずれも70歳代で，主な症状として発熱，咳，肺炎，菌血症がみられた。

○梅毒4例（男性3例・女性1例）：宮崎市，都城，日南，日向（各1例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，神経症状がみられた。

○百日咳12例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，嘔吐がみられた。ワクチン接種歴は有りが6例，不明が5例，無しが1例であった。

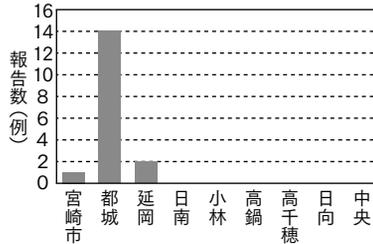


図1 結核 保健所別報告数(例)

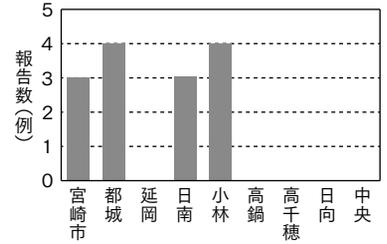


図2 つつが虫病 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

病型	報告数
肺結核	8
その他の結核 (結核性胸膜炎)	2
無症状病原体保有者	7

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	5
80歳代	1
90歳代	6

表3 つつが虫病 報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
50歳代	2
60歳代	5
70歳代	3
80歳代	3

表4 梅毒 病型別報告数(例)

病型	報告数
早期顕症梅毒Ⅰ期	1
早期顕症梅毒Ⅱ期	1
晩期顕症梅毒	1
無症状病原体保有者	1

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1

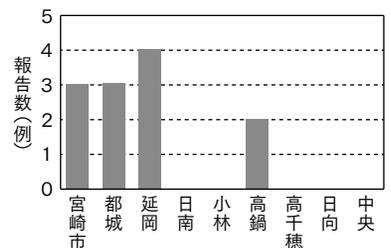


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	3
10歳代	5
30歳代	2
60歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は10,126人（定点あたり401.1）で、前月の247％、例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の279％であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は12,902人（定点あたり460.8）で、前月の約175％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は8,954人（319.8）で前月の約4.0倍、例年の約8.8倍であった。小林（468.5）、延岡（380.0）、宮崎市（360.2）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約8割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は155人（10.3）で前月の約0.8倍、例年の約3.8倍であった。高鍋（46.0）、日南（13.0）、日向（13.0）保健所からの報告が多く、4歳から6歳が全体の約4割を占めた。

前月との比較

	2025年12月		2025年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	8,954	319.8	2,247	80.3	★
新型コロナウイルス※1	85	3.0	145	5.2	
RSウイルス感染症	26	1.7	65	4.3	
咽頭結膜熱	127	8.5	42	2.8	★
溶連菌咽頭炎※2	212	14.1	216	14.4	
感染性胃腸炎	459	30.6	443	29.5	
水痘	25	1.7	28	1.9	
手足口病	0	0.0	1	0.1	
伝染性紅斑	155	10.3	187	12.5	★
突発性発しん	21	1.4	19	1.3	
ヘルパンギーナ	0	0.0	2	0.1	
流行性耳下腺炎	2	0.1	1	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	50	8.3	50	8.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	8	1.1	11	1.6	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.3	0	0.0	
急性呼吸器感染症	12,902	460.8	7,391	264.0	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い
 ※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体		検出数
インフルエンザウイルス	A型	
	AH1pdm09	0
	AH3	29
	B型	
	ビクトリア系統	3
	山形系統	0
新型コロナウイルス		1
RSウイルス	A型	0
	B型	0
パラインフルエンザウイルス	1型	0
	2型	0
	3型	0
	4型	0
ヒトメタニューモウイルス		0
ライノウイルス		8
エンテロウイルス		0
アデノウイルス		0
インフルエンザウイルスAH3・ライノウイルス		1
インフルエンザウイルスAH3・インフルエンザウイルスB（ビクトリア系統）		1
検出せず※2		20
受付検体数		63

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件	
細菌	<i>Klebsiella pneumoniae</i> TEM(+),SHV(+),CTX-M-1 group(+)	1	
	<i>Weissella confusa</i>	1	
	EHEC (O115:H10 VT1)	1	
	EHEC (Og113:HNM VT2)	1	
	EPEC (OUT:H21)	1	
	EPEC (OUT:HUT)	1	
	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	1	
	ウイルス	Parainfluenza virus 2	1
		Sapovirus	1
		Echovirus 18	1
Human herpes virus 6		1	
Parvovirus B19		2	
Rhinovirus		2	
Influenza virus A H3		15	
Norovirus G II.2[P16]		1	

■月報告対象疾患の発生動向〈2025年12月〉

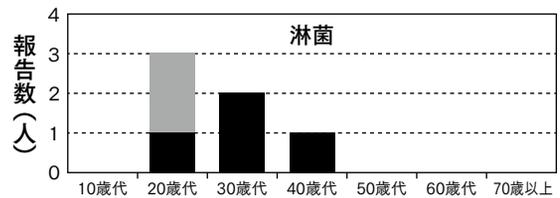
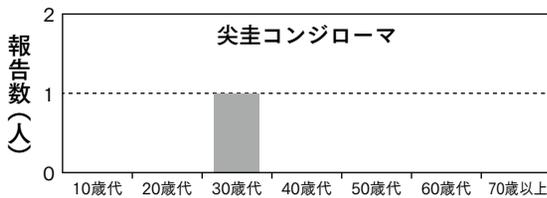
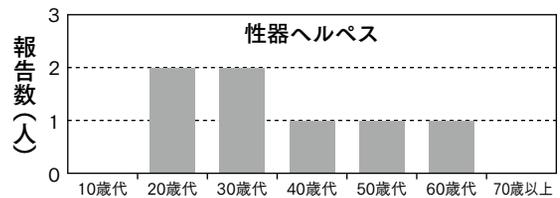
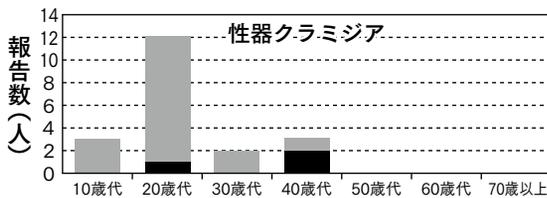
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年12月（2.5）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人（1.5）で、前月の約1.1倍、昨年12月の約1.3倍であった。20歳代が全体の6割を占めた。（男性3人・女性17人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.9倍であった。（女性7人）
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、昨年12月の約0.3倍であった。（女性1人、前月報告なし）
- 淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月及び昨年12月と同率であった。（男性4人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人（3.6）で、前月比147%と増加した。また、昨年12月（2.1）の約1.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月の約1.4倍、昨年12月の約1.6倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）であった。（前月及び昨年12月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

行きましょう!!
献血ルーム「カリーノ」へ

60歳～64歳の方限定!

60代で初めて
献血



ご協力の方に 宮崎大学のお米 進呈!

一度お問合せください!

- 薬を飲んでいる
- 既往歴がある
- 手術歴がある
- 以前献血できないと言われた
- 献血ができるかわからない

献血可能な年齢
をご存じですか?

献血がお願いできる上限年齢は69歳ですが、65歳以上で献血される方は60歳から64歳までに献血経験がある方に限られます。60歳から64歳までに献血を1度もしたことがない方は、65歳以降は献血がお願いできなくなります。

アクティブシニア献血キャンペーン

※キャンペーン参加ご希望の方は、スタッフにお申し出ください。



場所 献血ルーム「カリーノ」
宮崎市橘通東4-8-1
カリーノ宮崎3階

期間 2025年11月1日(土)
▶2026年2月28日(土)
※記念品がなくなり次第終了となります

受付時間
成分献血 9:30~12:30、14:30~16:30
全血献血 9:30~13:20、14:30~17:20

 0985-23-0007

各郡市医師会だより

延 岡 市 医 師 会

医療崩壊というワードが日々マスコミを賑わせていた平成20年前後、延岡もその例外ではありませんでした。県北唯一の3次救急病院である県立延岡病院で医師数の減少により休診科が相次ぎ、特に神経内科、消化器内科の休診によりそれまでその大半を担当していただいていた消化管出血、脳梗塞といった急性期対応が不可能になりました。目の前の患者を医師会として看過することはできず、当時ほとんど例がなかった会員施設での輪番制を立ち上げました。条件は頭部CTがとれる、内視鏡ができる入院施設でした。当初は担当される先生方の多くは専門医というわけではなく、その対応は必ずしも容易ではなかったわけです。ただ窮状に対して地域の医療がひとつになった瞬間でもありました。しかしながら十数年経過すると医師数の減少や高齢化などで継続が困難な施設もあり、輪番制の継続が難しい状況になってきています。そこで消化管出血については日向市東臼杵郡医師会にご協力をいただき、令和7年11月より輪番に加わっていただきました。脳血管障害については県立延岡病院脳外科が脳出血を一手に引き受けていただいておりますが、それだけでも負担が重く、TPAの投与も限定的でした。いつかはTPAのみならず血管内治療も延岡でという悲願を持ってまいりましたが、このたび令和7年4月より熊本大学より脳血管内治療専門医を派遣いただき、県北でも先端医療が享受できる体制が始まっています。いずれにせよこの輪番制はご協力いただく先生方の献身によって成り立っており、またぎりぎりの体制であることに変わりはありません。1月15日に脳血管障害新体制後、第一回目の検証検討委員会を開催いたしました。

(平野 雅弘)

宮 崎 市 郡 医 師 会

令和6年8月8日に日向灘を震源とするM7.1の地震があり、そのとき南海トラフ地震臨時情報が発表された。また同年台風10号による被害を受け、災害への備えとして、宮崎市災害弔慰金等支給審査会が設置され、令和7年6月5日第1回の審査会が開催された。玉置理事、増田理事、中村理事が出席した。災害弔慰金の認定までの流れを知り、これまでの災害関連死や、災害関連死として認められなかった例について事例検討をした。また、災害の種類により、人が受けるストレスの質が異なることも学んだ。

(中村 究)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

厚生労働省が公表した2024年度の医療経済実態調査によると、経常利益が赤字となった一般病院は63.3%、1施設当たりの損益率は7.3%の赤字であり、物価高や人件費の上昇が響いたとされます。2026年度診療報酬改定では、医師の技術料や人件費に当たる「本体」部分は2024年度改定以上の引き上げが見込まれ、全体ではプラス改定となり、経営改善や賃上げを支援する方針のようです。医療提供体制を維持できるような改定となるかどうかみてみましょう。

(三嶋 和也)

日向市東臼杵郡医師会

少子高齢化の中、医療・介護・福祉のシームレスな連携が謳われている。しかしながら医療・介護に携わる看護師、看護補助者、介護士やケアマネジャーの数もなかなか増えてこない。政府は2028年度末までに最大で計123万1,900人の外国人労働者を受け入れるとする上限案を示した。この中で介護に携わる人は160,700人となっている。2040年がピークを迎える高齢者の医療・介護・福祉の需要に対して精緻な議論が必要だ。今後は地域医療調整会議の役割がますます重要になってくると思われる。

(千代反田晋)

児 湯 医 師 会

COVID-19対応の経験をふまえ、2024年に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」が全面改訂され、それにともない昨年は各自治体で行動計画の策定が行われており、意見を求められた先生もいらっしやるかと思えます。改訂案では、対象疾患の拡大、対策項目の拡充（検査、ワクチン、医療提供体制、水際対策の詳細化）、ガバナンス強化（国・自治体の権限整理）、平時の準備（医療機関との協定締結の推進、DX化）など、詳細に検討されています。その反面、私見ですが、内容が複雑で実効性の担保が懸念され、また現場負担（予算・人員）軽減策が不十分であり、各地域の実情を考慮した柔軟な制度設計が望まれます。

(押川 克久)

西都市西児湯医師会

4月から妻・穂北・三財・三納・都於郡の5つの中学校が妻中に統合され西都中学校としてスタートすることになります。統合のメリットとしては生徒数の増加により部活動が充実することや生徒同士の切磋琢磨が期待できることなど。デメリットとしては通学の時間や距離、場

合によってはそれに関しての親の負担増などが挙げられるでしょうか。これで西都市の中学校は東米良地区の銀鏡中学校とのわずか2校となります。ますます少子化の波が押し寄せてきたと実感しています。

(黒木 重晶)

南 那 珂 医 師 会

地域医療構想を見据えたかかりつけ医機能に関して、新たにかかりつけ医機能報告を全医療機関対象に2026年1月から3月に行われます（寄稿は2025/12/10ですので幾分状況が変更になってるかもしれません）。内容として総合診療専門医の有無の項目がありますが、これはなしでも可となっています。日医生涯教育制度の座学研修が1単位あれば可能で実地研修は学校医、産業医活動、夜間救急担当、医師会活動を各々5単位として座学および実地研修で10単位以上で日本医師会による研修申請提出となり院内掲示が必要となります。5年後の再評価となっていますが医業事業の改善には本体の診療報酬の上昇が喫緊の課題です。

(河野 秀一)

西 諸 医 師 会

2026年度の診療報酬改定において、政府はその本体部分を3.09%引き上げると報道されています。多くの医療機関が赤字を計上し、その存続すら危惧されている現状では大変明るいニュースです。しかし、人件費と物価の高騰、高齢化社会と人口減少など、医療機関経営に対する負の因子は依然多く存在し、2040年問題に対する備えが未だ不十分であることも確かです。少ない医療資源を共同して活用し、医療水準を維持するために役割分担をより明確化して、引き続き医師会員全員での奮闘が求められています。

(坪内 斉志)

宮崎大学医学部だより

病態解析医学講座 - 放射線医学分野 -



あづま みなこ
東 美菜子 教授

宮崎県医師会の先生方におかれましては、日頃より多大なるご協力とご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、宮崎大学医学部放射線科には20名の医師が所属し、CT・MRIを中心と

した画像診断をはじめ、核医学、IVR、放射線治療の各領域を担当させていただいております。

近年、画像診断および放射線治療における機器やソフトウェアの進歩は極めて目覚ましく、AI（人工知能）を搭載した装置が普及しております。当院においても、AI技術を使用し、画質の向上、検査時間の短縮、造影剤使用量の減量などに役立っております。また、AIは、疑陽性が多い点や特定の異常所見のみ指摘する点で総合的な診断能力は放射線科医に劣るものの、AIを併用することで放射線科医の診断能が向上することはすでに知られており、日常診療に診断用AIを用いることも一般的になってきております。

核医学領域においては、「セラノスティクス（Theranostics：治療と診断の融合）」の概念のもと、新たな放射性薬品を用いた内照射療法が普及しつつあります。当院では、ソマトスタチン受容体陽性の神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法（PRRT：peptide receptor radionuclide therapy, ルタテラ療法）や、MIBG陽性の褐色細胞腫・パラガングリ

オーマに対するI-131-MIBGを用いた内照射療法（ライアットMIBG療法）を実施しております。さらに、2025年10月にはPSMA陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する内照射療法が国内で承認されました。今後、全国的な普及が見込まれる中、当院でも実施できるよう、診療体制の構築を現在進めております。

放射線科が果たすべき役割はますます多角化しており、より専門的で新しい知識や技術の習得、最先端の機器の導入、新規性の高い研究など、大学病院として求められていることは多いと考えておりますが、宮崎県内の放射線診療の充実にはなによりも重要な責務であり、人員の確保・育成に力を入れ、少しずつ専門医を地域に派遣できるようになってまいりました。宮崎県内では特にIVRや放射線治療を担当する医師が不足しておりますので、教室一丸となって若手医師の教育に励んでおります。今後も皆様のご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



お知らせ

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）対策に関する 連携協力協定締結



宮崎県医師会、宮崎県獣医師会および宮崎大学は、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関し、医学および獣医学の両分野における専門的知見を相互に活用し、診断、治療、予防、啓発活動、研究などの取組みを総括的かつ効果的に推進することにより、県民および動物の健康保持と安全確保を図ることを目的として、以下のとおり連携協力協定を締結した。

締結式では、河野会長が、県医師会ではこれまででも医師や医療従事者を対象に、SFTSの診断や治療、感染対策に関する研修会を随時開催してきたが、今後も最新の知見を積極的に発信し、さらなる対策強化に取り組んでいく。また、県民の皆様に対しては、日常生活における感染予防の重要性について、関係機関と連携しながらあらゆる機会を通じて周知・啓発に努めてまいりたいと述べ、本協定が本県におけるSFTS対策の重要な基盤となり、県民の安心・安全につながることを期待するとした。

日 時 令和7年12月23日(火)
場 所 宮崎大学木花キャンパス
出席者 公益社団法人宮崎県医師会 会長 河野雅行、理事 峰松俊夫
一般社団法人宮崎県獣医師会 会長 末吉益雄 他
国立大学法人宮崎大学 学長 鮫島 浩 他

協定項目

- (1) SFTSに関する疫学調査及び研究の共同実施
- (2) SFTS対策に関する情報の共有と技術支援
- (3) 医療・獣医療従事関係者向けのSFTSに関する研修会・講習会の開催
- (4) 一般県民へのSFTSに関する啓発活動の共同実施
- (5) SFTS感染動物の診療・隔離・搬送体制の整備
- (6) 動物飼育者へのSFTS感染予防指導の実施
- (7) その他、SFTS対策に必要と認められる事項

－ 各種委員会 －

介護保険委員会

と き 令和7年12月1日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

吉見常任理事の司会により開会し、石川委員長の進行で議事に入った。

1 令和7年度主治医研修会について

まず、吉見常任理事より研修の目的および留意点について説明があった。その後、今年度の研修内容について検討が行われた。

研修会の日程は、令和8年2月9日(月)に、現地およびWebのハイブリッド形式で開催し、後日オンデマンド配信を行うこととした。内容については、行政からの説明の他、以下の3つのテーマで実施することで了承された。詳細は委員長および担当理事に一任された。

- 1) 認知症の治療
- 2) 主治医意見書の基本
- 3) 判断能力の低下と意思決定支援 (ACP)

2 諮問事項について

「介護保険を使ったりハビリテーションへの主治医の関与について」

県リハビリテーション支援体制の整備にあたり、宮崎県医師会は県からの委託を受け、令和8年度から「宮崎県リハビリテーション支援センター」に指定される予定である。想定されている主な業務内容は以下のとおりである。

- ・関係団体、医療機関との連絡・調整への協力



- ・地域リハビリテーション支援センターへの支援
- ・研修の企画など
- ・災害リハビリテーション体制整備・調整への協力

なお、地域リハビリテーション支援センターは、県央・県北・県西・県南の4地域で設定される方向で進められている。

出席者

県医会館 - 石川委員長,

増田・園田・福嶋・早稲田委員

Web (Zoom) - 中島副委員長,

原田・谷島・上山・飛松・

牛谷委員, 山中・河原理事

(県 福祉保健部長寿介護課 医療・介護連携推進室) - 藏元主任技師, 勝木主事

(県医) - 吉見常任理事

野尻課長, 渡邊係長

－ 各種委員会 －

医学賞選考委員会

と き 令和7年12月3日(水)

と ころ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本常任理事の司会により開会。小牧副会長の挨拶の後、比嘉委員長の進行により本年度の医学賞について協議が行われた。



協 議

1 医学賞の選考について

昨年発行された宮崎県医師会医学会誌第48巻第1号および第2号を対象とし、各専門分科医会からの推薦などを参考に討議した結果、「当院におけるNOMIの治療戦略」(落合貴裕先生 第48巻第1号)の1論文を選考し、医学賞受賞候補論文として河野県医師会長に推薦することとなった。

出席者 委員

県医師会館－比嘉委員長, 甲斐副委員長,
松尾・小牧・嶋本委員

Web (Zoom)－落合・峰松委員
県医師会－久永次長, 松崎主事

お知らせ

令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 2名(男0人, 女2人)

【就職希望地】 宮崎市内1名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 講師 山本 優子
キャリア教育センター センター長 河野 豪

日医インターネットニュースから

■物価・賃金対応「全ての機関・従業員に」 — 松本会長 —

松本吉郎会長はメディアファクスの取材に応じ、2026年度診療報酬改定について「物価・賃金上昇への対応分を、全ての医療機関に行き渡らせ、全ての従業員の賃上げに反映させる必要がある」と強調した。また、逼迫した運営状況により低下している医療機関の体力を踏まえ、大きな改革や見直しは避け、現行の不合理の是正や簡素化、運用コストへの対応などにとどめるべきだとの考えを示した。

松本会長は昨年を振り返り、参院選や25年度補正予算、26年度診療報酬の改定率決定などを挙げながら、「激動の一年だった」と総括。改定率については、「通常の改定とは別枠で、賃上げ・物価対応のための財源を一定程度確保していただいた」と述べ、政府・与党関係者らに改めて謝意を示した。臨時国会での改正医療法の成立に言及するとともに、26年度税制改正や日医の組織率向上に尽力したことも「印象深い」との認識を示した。

●賃上げ評価、基本診療料中心に上乘せを

26年度改定に向けては、改定の基本方針に基づき「厳しい医療機関の運営状況を踏まえ、物価・賃金への対応に重点を置きながら、新たな医療技術への対応と現行の診療報酬における不合理の是正、届け出や算定要件の簡素化といった対応を図るべき」と求めた。

賃上げに必要な評価は、基本診療料を中心に上乘せを図り、資金が確実に医療機関へ届くようにすべきだと強調。「ベースアップ評価料の点数を引き続き活用する場合は、届け出や報告のさらなる簡素化が必要だ」とも述べた。

機能強化加算にも言及。「廃止や他の点数に包括するなど、乱暴な意見がある」と、財務省や財政制度等審議会の主張を牽制した。また、生活習慣病管理料は「前回改定で、特定疾患療

養管理料と併せて大幅な見直しとなり、医療現場は大変混乱した。今回、さらに見直しを行えば、再び混乱を招くことになる」と指摘。大きな見直しではなく、療養計画書の記載内容や交付の頻度などを、個々の患者の状況に応じて柔軟に対応できるように改善するべきとした。

(令和8年1月9日)

■日医会員数17万8593人、過去最多を更新 — 勤務医・研修医の増加が寄与 —

日医がまとめた会員数調査によると、2025年12月1日時点の会員数は17万8593人だった。前年同期より1210人増加し、過去最多を更新した。勤務医や研修医の増加が、引き続き寄与した。

●A1会員は減少

日医の医師賠償責任保険（医賠償）に加入する勤務医「A2会員（B）」は4万4294人（前年同期比1411人増）、医賠償に未加入の勤務医「B会員」は4万3978人（81人増）。「A2会員（B）」と「B会員」を合わせた勤務医の会員数は8万8272人（1492人増）となった。また、医賠償加入の研修医「A2会員（C）」は5116人（438人増）だった。

一方、病院や診療所の開設者、管理者らが該当する「A1会員」は8万1273人となり、492人減少。医賠償に未加入の研修医「C会員」も、228人減の3932人となった。

全体の構成割合は「A1会員」が45.5%、「A2会員（B）」が24.8%、「B会員」が24.6%、「A2会員（C）」が2.9%、「C会員」が2.2%だった。

都道府県別に見ると、会員数が増加したのは30都府県。減少したのは16道県、1県は増減なしだった。

●代議員数、5人増で385人に

今回の調査により、会員数に応じて割り振られる都道府県医師会ごとの日医代議員・予備代

議員定数は5人増えて385人となった。東京、岐阜、愛知、奈良、福岡の各都県医で1人ずつ増える。

都道府県別の代議員数は多い順に、▽東京都(41人)▽大阪府(33人)▽愛知県(23人)▽神奈川県(20人)▽福岡県(19人)▽兵庫県(18人)▽埼玉県(16人)▽北海道、広島県(12人)▽静岡県(10人)一となった。任期は、26年6月開催予定の定例代議員会～28年6月開催予定の定例代議員会の前日まで。

(令和8年1月9日)

■療養計画書の「患者署名」不要に — 生活習慣病管理料 中医協 —

厚生労働省は1月23日の中医協総会(会長=小塩隆士・一橋大経済研究所特任教授)で、生活習慣病管理料の療養計画書について、患者の署名を不要にする方針を示した。管理料(Ⅱ)では、生活習慣病と直接的な関係性が乏しい疾患に関する医学管理などを包括範囲外にする。2026年度診療報酬改定に向けた個別改定項目(いわゆる短冊)で提示した。

療養計画書への患者の署名はこれまで、診療側委員から医療現場の負担を指摘する意見が出ていた。厚労省は短冊に、患者や医療機関の負担軽減を図る観点から、管理料(Ⅰ)(Ⅱ)の療養計画書について「患者の署名を受けることを不要とする」と明記した。

短冊ではこのほか、管理料(Ⅰ)(Ⅱ)において、糖尿病が主病の患者に併存する、他の疾患に関する在宅自己注射指導管理を適切に進めるため、「糖尿病に対する適応がある薬剤を除く薬剤」の在宅自己注射指導管理料を算定可能

にする方針も盛り込んだ。

管理料(Ⅱ)に関して、生活習慣に関する治療管理の範囲を超えて別途行われる必要がある医学管理をはじめ、生活習慣病と直接的な関係性に乏しい疾患への医学管理、時間外対応・救急対応に関する医学管理、情報提供などに関連した評価は「当該管理料の包括範囲から除く」と明記。同管理料が「生活習慣に関する総合的な治療管理を行うことを評価する」という趣旨を踏まえたもの。

糖尿病の重症化予防を推進する取り組みとして、眼科、歯科を標榜する他の医療機関との連携を評価する「眼科医療機関連携強化加算」「歯科医療機関連携強化加算」を新設する。

●特定疾患療養管理料、対象見直しも

かかりつけ医機能の評価では、特定疾患療養管理料の対象疾病も見直す方針。消化性潰瘍のある患者に、禁忌の非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の投与がある場合は「胃潰瘍および十二指腸潰瘍」の対象から外す。厚労省が昨年12月の総会に示した、主傷病名が胃潰瘍に関連する患者のうち、NSAIDsの内服薬を調剤された患者が6.5%いたという状況を踏まえた対応。

機能強化加算では、施設基準で外来データ提出加算などを届け出ることが望ましいと明確化するほか、災害発生時などに継続的に医療提供を行うための対応などを盛り込む。

地域包括診療料・加算は、対象患者と要件を見直す。簡素化の観点から、認知症地域包括診療加算・認知症地域包括診療料と統合した評価体系にする。時間外対応加算は評価を引き上げ、名称を「時間外対応体制加算」に変える。

(令和8年1月27日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

■ 保険料納付済証明書について

令和7年分の国民健康保険料納付済証明書は、1月に送付しておりますのでご確認ください。なお、再発行はいたしかねますので、紛失されないようご注意ください。

■ 第26回歩こう会・ロコモ予防体操のご案内

毎回好評の歩こう会を開催いたします。また、当日は帖佐悦男先生のご指導による“ロコモ予防体操”を実施します。参加をご希望の方は、当組合Webサイトからお申し込みください。

日 時 令和8年3月8日(日) 9:30集合（昼食後、解散）
場 所 西都原（西都市）
対象者 組合員の先生とそのご家族
定 員 先着60名



【歩こう会申込サイト】

■ 健康診断（特定健診・特定保健指導）等のご案内

1 健康診断（特定健診含む）

1) 健診機関や自家健診で実施の場合

対象者には「健康診断個人票（桃色）」をお送りしています。各自でご予約のうえ受診してください。なお、自院で実施した場合でも当組合へ費用を請求できます。必須検査項目（★印）は必ず実施してください。また、組合員が自らに対して行った健診（自己健診）も請求は可能ですが、特定健診の対象にはなりません。

2) 日曜日健診（宮崎市郡医師会病院健診センター）の場合（先着順）

日曜日は当組合の被保険者のみの貸し切りとなり、落ち着いた雰囲気を実施されます。お申し込みは、当組合へWebまたはお電話でご予約ください。（電話 0985-22-6588）

日 程 令和8年3月8日、3月22日



【日曜健診申込サイト】

2 特定保健指導

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載の実施機関で特定保健指導を受けてください。

健康診断の他にもさまざまな保健事業を実施しています。

詳細につきましては、組合Webサイト内の「保健事業」ページをご確認ください。



【当組合Webサイト】

■ 禁煙支援・こころの健康づくり支援について

当組合では、組合員の皆様の禁煙支援やこころの健康づくり支援として、専門医による各種講演会などをご案内しています。受講を希望される方は、本誌の「医学会・講演会・日本医師会生涯教育講座認定学会」のページをご確認のうえ、各自でお申し込みください。

■ マイナンバーカードの健康保険証利用について

マイナ保険証は、これまでよりも正確な本人確認や資格確認ができるだけでなく、同意に基づいて過去の医療情報や薬剤情報を正確に共有できるなど、さまざまなメリットがあります。また、マイナポータルでは、医療費情報、薬剤情報、特定健診情報が閲覧できる仕組みが整備されています。

まだマイナ保険証をお持ちでない方は、マイナンバーカードの取得と健康保険証利用登録をお願いいたします。

国民年金基金 のご案内

日本医師・従業員支部

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部は、
「日本医師会」を設立母体とする
日本医師・従業員国民年金基金が、
全国基金への統合に伴い移行した
医師・医療従事者のための職能型支部です。

不確実な将来に、今、備える



国民年金基金は、
国民年金(老齢基礎年金)に上乗せる
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～税優遇を活かして老後に備える～

1 税制上の優遇措置

掛 金

掛金は全額社会保険料控除の対象となり所得税、住民税が軽減されます。
(掛金上限額(816,000円/年)まで控除の対象)

年 金

受け取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

遺族一時金

遺族一時金は全額が非課税となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた「終身年金」が基本です。

新規加入の
9割以上の方が
税優遇を重視して
ご加入されています。

3 ご家族及び従業員の方も加入可能

同一生計のご家族の掛金も負担した方の社会保険料控除の対象となる税制面のメリットがあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- 厚生年金の被保険者は加入できません。
主に、個人立診療所の医師、従業員、ご家族などとなります。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部

☎ 0120-700650
FAX 03-5976-2210

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-6-12 マグノリアビル2階

ポイント

HP上でもシミュレーションや
加入申出のお手続きができます!



医師支部 検索

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	a	d	b	c	d	c	a	a	b, d



令和7年12月2日(火) 第8回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①傷病審査委員会の専門委員の推薦等について
→休職中の県職員の職場復帰等を検討する委員会の委員（内科2名，産婦人科1名，外科1名，整形外科1名，精神科2名）の任期満了に伴う推薦依頼があり，この委員会が教育委員会の疾病審査委員会と同じ審査業務であるため，教育委員会の疾病審査委員に就任の意向を確認し，就任を断られた場合は専門分科医会に人選を依頼することが承認された。

2. R8.2/14(土) (福岡)「九州医師会連合会第427回常任委員会」並びに「九州医師会連合会第2回連絡協議会」の開催について

常任委員会については，河野会長が出席することが承認され，議題があれば事務局経由で会長に提出し，取扱いについては会長に一任することが承認された。連絡協議会については，発表内容の作成と発表者，その他出席役員をテーマと議題を考慮して，副会長が調整を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 11月末日現在の会員数について
2. 11/28(金) (福岡) 九医連常任委員会について
3. 11/30(日) (東京) 全国有床診療所協議会理事会・臨時社員総会・医師連盟執行委員会について
4. 11/26(水) (宮大医学部) 医師を目指す学生のためのキャリアセミナーについて
5. 12/1(月)土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会について
6. 11/28(金) (福岡) 九医連臨時委員総会について
7. 11/29(土) (福岡) 九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会について
8. 11/29(土) (福岡) 九州医師会総会・医学会・分科会・記念行事について
9. 12/1(月) (県医) 予防接種事務のデジタル化に係る担当理事連絡協議会について
10. 11/27(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
11. 11/29(土) (宮大医学部) 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会について
12. 12/1(月) (県医) 介護保険委員会について
13. 11/26(水)日医救急災害医療対策委員会地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループについて

医師連盟関係

(報告事項)

1. 12/2(火) (東京) 自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」について

令和7年12月16日(火) 第17回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 献血に係る協賛依頼について

献血推進のためのキャンペーンで，献血

協力者へ配布する物品について協賛することが承認された。

2. 高木兼寛公顕彰演劇への協賛・寄付及び周知について

高木兼寛公の功績を広く県民に伝え理解を深めていただき、地域文化の振興と郷土愛の醸成を図ることを目的に開催される顕彰演劇で、協賛する事が承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①県肝炎治療認定審査会委員の推薦について

→肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的とした審査会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、現委員2名に継続の意向を確認のうえ、引き続き推薦することが承認された。

②県小児慢性特定疾病審査会委員の推薦について

→小児慢性特定疾病医療費助成事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的に設置される審査会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、高木常任理事と佐藤潤一郎先生を推薦することが承認された。

4. 宮崎大学白菊会運営支援のお願いについて

献体登録者の会である宮崎大学白菊会から運営資金に対する援助依頼があり、例年同様、県医師会員への募集案内等に協力することが承認された。

5. R8.1/15(木)・16(金)厚生労働省並びに九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の特定共同指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる特定共同指導で、嶋本常任理事及び田畑理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 令和7年度医療機関税制セミナーの開催募集について

医療機関経営に係る税制・税務の理解を深めるためのセミナーについて、日本医師会より本県での開催について依頼があり、日本医師会、TKC全国会、県医師会、県医師協同組合の4者共催で例年どおり開催することが承認された。

7. 死後診察及び死体検案の手引きについて

日頃の警察活動協力医の確保と、大規模災害時の検案医師の確保を目的に作成した手引きについて、案のとおり承認された。

8. 令和8年度特定健康診査等の集合契約Bに係る提案について

令和7年度と同額の委託料単価（基本的な健診項目9,317円、貧血検査231円、心電図検査1,430円、眼底検査1,210円、血清クレアチニン及びeGFR 121円）で、令和8年4月1日の契約締結に向け準備を進めることが承認された。

9. 第39回宮崎県医師会医学賞の推薦について

県医師会医学賞選考委員会から推薦があった「当院におけるNOMIの治療戦略」落合貴裕先生（第48巻第1号）を医学賞とすることが承認された。

10. R8.2/8(日)（日医）母子保健講習会の開催について

地域医療における母子保健活動を円滑に実施するために必要な知識を修得するための研修会で、高木常任理事と嶋本常任理事の出席が承認された。また、上山理事が県産婦人科医会から出席することが報告された。

11. R8.2/14(土)（福岡）九州医師会連合会第2回勤務医連絡協議会～勤務医交流会～の開催について

「勤務医の医師会活動への参画」をテー

マに開催される協議会で、関係役員等が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 12/11(木) (県防災庁舎) 県医療審議会について

3. 12/11(木) (県防災庁舎) 「医療・介護等パッケージ」及び「重点支援地方交付金」等に関する三師会要望について

4. 12/8(月) (県医) 新たな地域医療構想を見据えたかかりつけ医機能報告に係る研修会について

5. 12/8(月) (県医) 地域医療委員会・救急災害医療対策委員会について

6. 12/10(水) (県総合保健センター) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議について

7. 12/11(木) (延岡市) 延岡市医師会会員忘年会について

8. 12/13(土) (シーガイア) 指導医のための教育ワークショップについて

9. 12/16(火) (県防災庁舎) 県総合計画審議会について

10. 12/4(木) (県医) 県医中間監事監査について

11. 12/10(水) (県医) 広報委員会について

12. 12/4(木) (県医) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について

13. 12/15(月) (県医) 自殺対策うつ病研修会について

14. 12/4(木) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について

15. 12/5(金) (県医) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会について

16. 12/6(土) (シーガイア) 病院部会・医療法人部会理事会・合同研修会について

17. 12/11(木) (宮崎労働局) 宮崎地方労働審議会について

18. 12/9(火) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について

19. 12/11(木) (県防災庁舎) 県保険者協議会について

20. 12/13(土) (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会について

21. 12/15(月) (県防災庁舎) 県地域医療対策協議会及びプログラム運用部会について

22. 12/16(火) (県防災庁舎) 国スポ・障スポ実行委員会医療救護専門委員会について

23. 12/6(土) (県医) 産業医研修会について

24. 12/11(木) (県医) 外国人患者受入れに関する研修会について

25. 12/3(水) (県医) 医学賞選考委員会について

26. 12/6(土) (日医) 家族計画・母体保護法指導者講習会について

27. 12/12(金) (県医) 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会について

28. 12/13(土) (県医) ひむか性教育シンポジウムについて

29. 11/26(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

30. 11/28(金) 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会について

31. 12/15(月) (県医) 労災部会自賠委員会について

32. 12/15(月) (県医) 損害保険医療協議会について
医師連盟関係

(議決事項)

1. R8.1/8(木) (ニューウェルシティ宮崎) 公明党宮崎県本部2026新年賀詞交歓会のご案内について

参加を見送ることとなった。

2. R8.1/20(火) (日医) 日医連執行委員会開催について

河野委員長と吉田常任執行委員の出席が承認された。

3. 12/18(木) (東京) 社会保障を守る会緊急集会のご案内について

吉田常任執行委員の出席が承認された。

(報告事項)

1. 12/7(日) (北九州) 自見はなこ政策セミナーについて

令和7年12月23日(火) 第18回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医会費・県医会費減免1名、高齢による日医会費減免1名、卒後5年間による日医会費・県医会費減免1名の申請が承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①R8.2/20(金) (MRTmicc) がん対策推進企業アクション宮崎県ブロックセミナーの後援依頼について
→「職域におけるがん対策の最新情報」について開催される企業向けのセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

3. R8.2/26(木)医師の働き方改革Web研修会の開催について

「これからの医業経営について、今、管理者が取り組むこと」をテーマとした研修会で、案のとおり開催することが承認された。

4. 1・2月の行事予定について

(報告事項)

1. 12/19(金) (都城市) 都城市北諸県郡医師会忘年会について

2. 12/23(火) (宮大) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 対策に対する連携と協力に関する協定式について

3. 12/17(水)県デジタル社会推進協議会について

4. 12/17(水) (県医) 広報委員会について

5. 12/18(木) (日医) 日医広報委員会について

6. 12/18(木) (県医) 日医社保指導者講習会伝達講習会について

7. 12/16(火) (県防災庁舎) 国スポ・障スポ実行委員会医療救護専門委員会について

8. 12/18(木) (高鍋町) ロコモ予防運動推進事業普及講座について

9. 12/22(月) (宮大医学部) 宮大医学部地域枠全体ミーティングについて

10. 12/23(火) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

11. 12/19(金) (県防災庁舎) 県死因究明等推進協議会について

12. 12/18(木)国民保護事案発生時における医療提供体制についての打合せについて

13. 12/17(水)日医公衆衛生委員会について

14. 12/23(火) (県庁) 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 12/18(木) (東京) 社会保障を守る会緊急集会について

県 医 の 動 き

(1月)

5	新年賀詞交歓会（会長） 仕事始め式（会長）	24	九州各県内科医会会長会議（Web会議） 県産婦人科医会冬期定時総会・講演会（Web会議）
6	第9回常任理事協議会（Web会議）（会長他）	25	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 （吉見常任理事）
9	県依存症対策推進協議会（Web会議）（峰松理事） 県地域医療構想調整会議（会長他）	26	（国富町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 （新富町）ロコモ予防運動推進事業普及講座
10	三師会合同新春懇談会（河野委員長他）	27	たけい俊輔必勝祈願祭・出陣式 県内経済団体代表者による「宮崎を語る会」 （河野委員長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医師協理事会（河野理事長他） 性と生殖に関する調査検討会（嶋本常任理事） 医師協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第20回全理事協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
11	（日医）日医JMAT研修会（基本編）（田畑理事）	28	労災診療指導委員会・労災部会理事会 （赤須常任理事他） 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会（玉置常任理事） 全国有床診療所協議会臨時社員総会（Web会議） （会長）
13	第19回全理事協議会（Web会議）（会長他）	29	（日医）第11回ワークショップ「会員の倫理・ 資質向上をめざして」（落合常任理事） 医師クランク育成スキルアップ研修会（Web会議） 勤務医部会理事会（Web会議）（金丸副会長他） 勤務医部会後期講演会（Web会議）（金丸副会長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
14	支払基金審査運営協議会（会長） （日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委 員会（峰松理事） 広報委員会（荒木常任理事他） 宮崎市郡医師会新年例会（会長）	30	宮崎大学・宮崎大学医学部附属病院連携病院 病院長/理事長会議（金丸副会長他） 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 （Web会議）（小牧副会長他） 県感染症医療提供体制ワーキンググループ会議 （Web会議）（峰松理事） 高次脳機能障がい講演会（Web会議） （吉田常任理事）
15	社会保険医療担当者の特定共同指導（田畑理事） （川南町）ロコモ予防運動推進事業普及講座 日医医業経営検討委員会（Web会議） （吉田常任理事） 発達障害診断医養成研修会（高木常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他） 宮崎市郡整形外科医会新年会（会長）	31	（沖縄）日本プライマリ・ケア連合学会九州支 部総会・学術大会（玉置常任理事） 産業医研修会（TV会議）（池井常任理事他） 日医未来医師会ビジョン委員会（大塚常任理事）
16	社会保険医療担当者の特定共同指導（嶋本常任理事） 県外科医会理事会（Web会議）（田畑理事）		
17	（福岡）九州ブロック災害医療研修会 （金丸副会長他） （福岡）九医連救急・災害医療担当理事連絡協 議会（金丸副会長他）		
20	（日医）都道府県医師会会長会議（会長） （日医）日医連執行委員会（河野委員長他） 組織強化・将来構想委員会小委員会（小牧副会長他）		
21	（日医）日医地域医療対策委員会（金丸副会長） 医局員に対する医師会活動説明会【皮膚科学】 （大塚常任理事） 臨床研究倫理審査委員会（荒木常任理事他）		
22	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会（大塚常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他） 医師国保組合定例事務監査（秦理事長他）		
23	日医財務委員会（Web会議）（小牧副会長） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会（吉見常任理事） 医療安全対策Webセミナー（Web会議） （河野理事長他）		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年1月5日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 14人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整形外科	2	2	0
精神科	1	0	1
脳神経外科	1	0	1
消化器内科	3	0	3
放射線科	1	0	1
総合診療科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
老 健	2	1	1

2. 斡旋成立件数 108人

	合計
令和7年度(4/1～1/5)	4
平成16年度から累計	108

3. 求人登録 102件 290人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	88	66	22	消化器外科	6	3	3
外 科	19	17	2	乳 腺 外 科	2	2	0
整形外科	20	17	3	健 診	2	2	0
精神科	14	12	2	泌尿器科	4	3	1
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検 診	0	0	0
消化器内科	20	16	4	皮膚科	0	0	0
麻 醉 科	7	6	1	婦 人 科	0	0	0
眼 科	10	6	4	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	8	8	0	人工透析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	2	1	1
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	4	3	1	形成外科	0	0	0
総合診療科・内科	12	9	3	診療科目不問	9	5	4
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	10	8	2	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	5	3	2
救命救急科	7	5	2	合 計	290	223	67

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラムやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	14	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230248	社医)耕和会 介護老人保健施設あおしまのいえ	宮崎市	不問	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230181	医) 社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年1月5日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 函師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊 江崎医院跡
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり(16台)	所有者: 日向市東白杵郡医師会員 吉田クリニック
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり(6台) 別途, 賃貸の駐車場(22台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 青翠会 山本医院
2. 賃貸物件又は譲渡物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり(3台) 別に隣接病院駐車場あり(応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階(グループホームやすらぎ)	所有者: 都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 滝口内科 (旧)のぞみ医院跡
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり(20台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 平部整形外科医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年1月28日

2		月		
1	日	8:30 (沖縄)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会 9:00 日医未来医師会ビジョン委員会 13:00 日医医療秘書認定試験	16 月	15:00 都道府県医師会予防接種担当理事連絡協議会 (Web会議) 18:00 県感染症対策連携協議会 19:00 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会
2	月	13:30 県高齢者サービス総合調整推進会議 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ (Web会議)	17 火	13:20 県社会福祉審議会 19:00 組織強化・将来構想委員会 (Web会議)
3	火	13:30 日医救急災害医療対策委員会地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループ (Web会議) 18:25 県公害健康被害認定審査会 19:00 第10回常任理事協議会	18 水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会
4	水	18:00 県医療審議会医療計画等部会 18:30 県肝炎対策懇話会	19 木	14:00 (日医)日医広報委員会 14:00 スポーツ庁委託事業コンソーシアム事業報告会 (Web会議) 14:00 社会保険医療担当の新規個別指導 14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 16:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 18:00 県認知症疾患医療センター合同会議 (Web会議) 19:00 医師国保組合理事会 19:00 医学会誌編集委員会 (Web会議)
5	木	17:00 県地域医療対策協議会プログラム運用部会 18:00 県地域医療対策協議会 19:00 県医療的ケア児等支援部会	20 金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議) 19:00 医療安全対策Webセミナー (Web会議)
6	金	13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web会議) 16:00 九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会 (Web会議)	21 土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け研修会 (Web会議) 13:30 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会 (福岡)九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会 16:40 県内医師会病院連絡協議会
7	土	15:00 母体保護法指定医師研修会 (Web会議) 16:00 各郡市医師会等職員研修会	22 日	9:00 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会 (Web会議)
8	日		23 月	(天皇誕生日)
9	月	18:30 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議) 19:00 県小児科医会役員会 (Web会議)	24 火	14:00 県国保連合会理事会・通常総会 (Web会議) 18:30 医師協理会 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第22回全理事協議会
10	火	19:00 第21回全理事協議会 (Web会議)	25 水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 16:00 日医医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会 (Web会議) 18:45 医神祭 19:00 県医師会創立137周年記念医学会
11	水	(建国記念の日)	26 木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 県内科医会理事会 19:00 第2回医師の働き方改革Web研修会 (Web会議)
12	木	14:00 県保険者協議会 14:00 県性暴力被害者支援に係る意見交換会 15:00 県看護協会新人看護職員研修推進協議会 18:30 県循環器病対策推進協議会 19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) 19:00 日医認定産業医関係小委員会	27 金	14:00 (日医)都道府県医師会事務局長連絡会 16:00 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会
13	金	14:00 県ナースセンター事業運営委員会 15:00 県ロコモティブシンドローム対策協議会 (Web会議) 18:30 県外科医会冬期講演会 (Web会議) 19:00 広報委員会	28 土	9:00 医療メディエーター養成研修会 (基礎編) 12:50 レジナビFairオンライン2026宮崎県臨床研修プログラム
14	土	14:00 (福岡)九医連第2回勤務医連絡協議会～勤務医交流会～ 15:00 (福岡)九医連常任委員会 16:00 (福岡)九医連第2回連絡協議会 16:00 自賠責保険研修会 (Web会議)		
15	日	9:00 緩和ケアチーム研修会 (Web会議) 9:00 (日医)日医JMAT研修会 (統括編)		

社 保 査 国 保 査

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮崎県医師会行事予定表

令和8年1月28日

3		月				
1	日	9:00 医療メディエーター養成研修会(基礎編)	17 火		↑	
		10:00 日医医療事故調査制度に係る支援 団体統括者セミナー (Web会議)	18 水	16:30 支払基金審査運営協議会・ 懇談会		
		13:30 (日医)在宅医療シンポジウム				
2	月	17:30 県アイバンク協会理事会	19 木	15:00 (日医)日医有床診療所委 員会		
3	火	19:00 第11回常任理事協議会		19:00 広報委員会		
4	水	15:00 (日医)日医地域医療対策委員会	20 金	(春分の日)		
5	木	13:00 日医救急災害医療対策委員会 (Web会議)	21 土	12:30 県認知症高齢者グループホー ム連絡協議会理事会 (Web会議)	国 保 審 査	
		19:00 医師国保組合通常組合理事会 (Web会議)		14:00 県認知症高齢者グループホー ム連絡協議会全体研修会 (Web会議)		
6	金	16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会	22 日		↑	
		19:00 在宅医療研修会企画小委員会				
		19:00 各郡市内科医会長会				
7	土	12:00 (日医)日医医療情報システム協議会	23 月	19:00 県臨床研修専門研修運営協 議会 (Web会議)	↑	
		14:55 県産婦人科医会ひむかせミナー (Web会議)				
		16:00 病院部会・医療法人部会合同医療 従事者研修会				
		17:00 (鹿児島)鹿児島県医師会役員との 救急災害医療に関する意見交換会				
8	日	9:00 県産婦人科医会ひむかせミナー (Web会議)	24 火	(東京)全国国保組合協会通 常総会	社 保 審 査	
		9:30 (日医)日医医療情報システム協議会		14:00 県健康づくり協会理事会		
		9:30 (西都市)医師国保組合歩こう会		14:30 県国保等はり、きゅう及びあ ん摩マッサージ療養費審査 委員会		
9	月	19:00 県内科医会評議員会		18:30 医師協理事会 (Web会議)		
				19:00 医師協理事・運営委員合同協 議会 (Web会議)		
10	火	19:00 第2回理事会		終了後 第24回全理事協議会 (Web会議)		
		終了後 第23回全理事協議会				
11	水	15:00 (日医)日医公衆衛生委員会	25 水	15:00 労災診療指導委員会・労災 部会理事会	社 保 審 査	
		19:00 JMAT・JRAT合同研修会				
12	木	19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	26 木	18:00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会		
13	金	13:00 (大分)日医医師会共同利用施設検 討委員会	27 金		↓	
		13:30 宮大経営協議会		28 土		16:00 (東京)全国医師会医療秘書学 院連絡協議会常任委員会・ 運営委員会
		16:00 (福岡)九医連事務局長連絡協議会				
		19:00 広報委員会				
14	土	(福岡)九医協連購買・保険部会	29 日	9:00 (日医)九プロ日医代議員連絡 会議	↓	
		9:00 ICLS指導者養成ワークショップ		9:30 (日医)日医臨時代議員会		
15	日	8:30 ALS研修会	30 月			
16	月	19:00 県医医学会役員会 (Web会議)	31 火			

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。



詳細および最新情報はこちら

令和7年度HIV・エイズ対策講習会

2月1日(日) 13:00~15:00 [現地]

宮崎県庁防災庁舎

「クリニックで診るHIV/性感染症」

しらかば診療所 院長 井戸田 一朗

主催：宮崎県医師会

共催：県立宮崎病院

宮崎県福祉保健部薬務感染症対策課

☎0985-44-2620

CC(単位)：8 (1.0)

専門医共通講習－感染対策：1単位

第203回宮崎心臓病研究会

2月2日(月) 19:00~20:20 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「Society 5.0の循環器診療を展望する」

九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 准教授
的場 哲哉, 他

他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：興和(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：75 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

2月4日(水) 19:00~21:00 [現地]

串間市総合保健福祉センター

「リスクを軽減する職場巡視の方法」

産業保健相談員

串間市民病院 内科 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の現地研修会：2単位

日向市東白杵郡医師会学術講演会

2月4日(水) 19:00~20:00 [現地・Web]

ホテルベルフォート日向

「糖尿病のある人と一緒に考える糖尿病治療

～テルゼパチドを届けたい人・タイミング・そして工夫～

森内科医院 副院長

森 博子

主催：日向市東白杵郡医師会 ☎0982-52-0222

共催：日向市東白杵郡医師会内科医会

田辺ファーマ(株)

日本イーライリリー(株)

CC(単位)：76 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

2月5日(木) 13:30~15:30 [現地]

都城市北諸県郡医師会館

「この一年間(令和7年)の産業保健の動向」

産業保健相談員

労働衛生コンサルタント

矢崎 武

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

第5回宮崎骨粗鬆症研究会

2月5日(木) 19:00~20:00 [現地・Web]

宮崎県医師会館

「生活習慣病関連骨粗鬆症up-to date」

産業医科大学病院 臨床研究推進センター

センター長・診療教授 岡田 洋右

主催：宮崎骨粗鬆症研究会

共催：東和薬品(株) ☎070-7771-8208

後援：宮崎県医師会

CC(単位)：76 (1.0)

参加費：1,000円

宮崎県内科医会学術講演会

～認知症の早期発見と診療連携について考える～

2月5日(木) 19:00~20:00 [現地・Web]

KITENビル

「不眠の心身への影響とBZ薬の功罪」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座

精神医学分野 教授 平野 羊嗣

主催：宮崎県内科医会

共催：エーザイ(株) ☎090-7170-1098

CC(単位)：20 (1.0)

延岡医学会学術講演会

2月6日(金) 19:00~20:00 [現地]

キャトルセゾンマツイ

「当院における冠動脈疾患に対する脂質管理の現状と取り組み」

県立延岡病院 循環器内科 副医長

伊豆元 心太郎

「冠動脈疾患における包括的薬物治療戦略」

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一

主催：延岡医学会

共催：大塚製薬(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：75 (1.0)

宮崎市郡医師会園医部会総会・講演会

2月7日(土) 16:00~17:30 [現地]

宮崎市郡医師会館

「よりよい5歳児健診を目指して～現状と課題～」

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座

小児科学分野 医員 森 こずえ, 他

主催：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：72 (1.5)

宮崎市郡産婦人科医会2月例会学術講演会

2月9日(月) 19:00~20:10 [現地・Web]

宮崎市郡医師会館

「お母さんの免疫で赤ちゃんを守るーRSウイルス母子免疫ワクチンの新展開」

宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 助教/副医局長

松澤 聡史

「当院におけるRSウイルス母子免疫ワクチン接種勧奨の実際」

産婦人科 いきめの杜クリニック 院長

卜部 浩俊

主催：宮崎市郡産婦人科医会

共催：ファイザー(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：8 (0.5), 11 (0.5)

西都市西児湯医師会学術講演

2月9日(月) 19:00~20:10 [現地・Web]

西都市西児湯医師会館

「在宅医療連携を支えるICT～ツールを超えて考える、これからの連携のかたち～」

宮崎大学医学部 地域包括ケア学講座 特別教授

都農町国民健康保険病院 総合診療科 医長

桐ヶ谷 大淳

主催：西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687

共催：西都市西児湯内科医会

西都市西児湯地域包括ケア推進センター

CC(単位)：80 (1.0)

宮崎ワンヘルス研究会第7回多職種連携セミナー
2月10日(火) 19:00~21:00 [現地]
県立宮崎病院

「ワンヘルスとしての感染症～COVID-19, SFTS
など人獣共通感染症を中心に～」

札幌市保健福祉局 医務・保健衛生担当局長
西條 政幸

「感染症と私たちの暮らし～保健行政・公衆衛生
の対話」

札幌市保健福祉局 医務・保健衛生担当局長
西條 政幸, 他

主催：宮崎ワンヘルス研究会

共催：宮崎大学医学部医学科 内科学講座呼吸器
・膠原病・感染症・脳神経内科学分野

連絡先：県立宮崎病院 ☎0985-24-4181

CC(単位)：8 (2.0)

令和7年度 第2回都城市CKD予防連携医研修会
2月10日(火) 19:15~20:30 [現地・Web]
未来創造ステーション

「適正使用で実現するテルゼパチド治療：専門医
と非専門医，対話から生まれる実践アプローチ」
亀田総合病院 糖尿病内分泌内科 部長

三浦 正樹

主催：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

共催：日本イーライリリー(株)，田辺ファーマ(株)

後援：都城市

CC(単位)：4 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会
2月12日(木) 14:00~16:00 [現地]
宮崎県医師会館

「この一年間(令和7年)の産業保健の動向」

産業保健相談員

労働衛生コンサルタント 矢崎 武

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

宮崎市郡内科医会学術講演会
2月12日(木) 19:00~20:00 [Web]

「慢性腎臓合併高血圧におけるARNIの強み(仮)」

琉球大学病院 血液浄化療法部 診療教授・部長
古波蔵 健太郎

主催：宮崎市郡内科医会

共催：大塚製薬(株)

ノバルティスファーマ(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：74 (1.0)

令和7年度宮崎県医師会労災部会自賠責保険研修会
2月14日(土) 16:00~18:05 [現地・Web]
宮崎県医師会館

「自賠責保険(共済)のしくみ」

損害保険料率算出機構

宮崎自賠責損害調査事務所 所長 藤本 康司

「自賠責診療における保険会社対応と実務的注意点」

宮崎県医師協同組合顧問弁護士

弁護士法人きさらぎ代表弁護士 高山 桂

主催：宮崎県医師会

共催：宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118

CC(単位)：6 (2.0)

令和7年度緩和ケアチーム研修
2月15日(日) 9:00~12:00 [現地]
宮崎県医師会館

「がん患者のせん妄～ガイドライン2025年版(改訂第3版)のポイント～」

名古屋市立大学大学院 看護学研究科

精神保健看護学 教授 谷向 仁

他演題あり

主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

CC(単位)：81 (3.0)

都城市北諸県郡医師会内科医会・産婦人科医会合同講演会

2月17日(火) 19:00～20:00 [現地・Web]
未来創造ステーション

「妊産褥婦管理における内科と産婦人科の医療連携」

～産褥期不安における加味帰脾湯の臨床応用～

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座

産婦人科学分野 教授 桂木 真司

主催：都城市北諸県郡内科医会

都城地区産婦人科医会

共催：(株)ツムラ

連絡先：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

CC(単位)：71(1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

2月18日(水) 19:00～21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「リスクを軽減する職場巡視の方法」

産業保健相談員

串間市民病院 内科 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の実地研修会：2単位

しのめ医学会特別講演会

2月18日(水) 19:00～20:00 [現地・Web]
宮崎市郡医師会館

「画像診断 最近のトピックス」

宮崎大学医学部 病態解析医学講座

放射線医学分野 教授 東 美菜子

主催：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：0(1.0)

延岡医学会学術講演会

2月20日(金) 19:00～20:00 [現地・Web]
エンシティホテル延岡

「呼吸器感染症のプライマリーケア」

宮崎大学医学部 内科学講座

呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野

教授 宮崎 泰可

主催：延岡医学会

共催：インスメッド(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：46(1.0)

令和7年度第2回宮崎県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会

2月22日(日) 9:00～12:05 [現地・Web]
宮崎県医師会館

「国研修と県内の現状からかかりつけ医へ伝えたいこと」

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座

小児科学分野 医員 森 こずえ

「かかりつけ医としての関わりのパリエーション」

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座

小児科学分野 医員 森 こずえ

「教育との連携を考える」

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座

小児科学分野 医員 森 こずえ

主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

CC(単位)：0(1.0), 4(1.0), 12(1.0)

第32回日本産婦人科乳腺医学会(乳がん検診研修会)

2月22日(日) 9:00～16:20 [現地・Web]
アートホテル宮崎スカイタワー

「HBOC診断で配慮すべきこと」^(乳)

宮崎大学医学部 産婦人科 山口 昌俊

「乳房エキスパート看護職セッション」

県立宮崎病院 長澤 蘭, 他

「乳房超音波を活用した出産前後の乳房管理」

大川産婦人科病院 森田 哲夫, 他

「乳房疾患認定医を取得して」

藤沢市民病 院乳腺外科 日向 妙子, 他

「産婦人科から始める乳腺診療の輪」

社会医療法人愛育会 福田病院

乳がん看護認定看護師 今福 曜子

「マンモグラフィ読影試験で高得点を取るために」

藤吉乳腺クリニック 藤吉 健児

「超音波講習会合格の秘訣」

三河乳がんクリニック 水谷 三浩

主催：日本産婦人科乳腺医学会

共催：日本イーライリリー(株)

日本産婦人科医会

連絡先：第32回日本産婦人科乳腺医学会運営事務局

☎03-5312-7686

CC(単位)：0 (5.0), 1 (1.0), 9 (1.0),
10 (1.0)

参加費：10,000円

延岡医学会学術講演会

～宮崎県北地区整形外科医会特別記念講演会～

2月27日(金) 19:00～20:30 [現地・Web]

エンシティホテル延岡

「Wide Awake Hand Surgeryの経験」

(医)慶仁会 川崎病院 整形外科 手外科センター長
仲摩 憲次郎

「手外科医が診る神経障害性疼痛治療

～テノゲカの世界から～

順天堂大学医学部附属浦安病院 整形外科 准教授
市原 理司

主催：延岡医学会

共催：第一三共(株)

宮崎県北地区整形外科医会

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：9 (0.5), 57 (1.0)

第213回宮崎県眼科医会講習会

2月28日(土) 16:30～19:00 [現地]

宮崎観光ホテル

「眼瞼炎の診断と治療, そして再発予防

～その異物感はどこから?～

杉浦眼科 副院長

崎元 暢

「糖尿病網膜症治療のUpdate」

山口大学大学院医学系研究科 眼科学 教授

木村 和博

主催：宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015

共催：千寿製薬(株)

CC(単位)：36 (2.0)

参加費：3,000円

Orthopaedic Clinical Seminar in 宮崎

2月28日(土) 18:00～19:00 [現地・Web]

KITENビル

「高齢者によく見られる脊椎疾患

～神経障害性疼痛の管理による健康寿命延伸～

野崎東病院 副院長

濱中 秀昭

主催：宮崎県臨床整形外科医会

共催：第一三共(株) ☎080-1393-2113

後援：宮崎県医師会

CC(単位)：60 (1.0)

第204回宮崎心臓病研究会

3月3日(火) 18:50～20:20 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「基礎と臨床をつなぐ循環器精密医療」

東京大学大学院医学系研究科

先端循環器医科学講座 特任准教授

システム循環器学研究室グループリーダー

野村 征太郎, 他

他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：日本ライフライン(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：9 (1.0)

第74回宮崎県スポーツ学会

3月7日(土) 15:00~19:00 [現地]

宮崎大学創立330記念交流会館

「膝スポーツ損傷に対する運動器超音波診療」

金沢大学医学部 整形外科 講師 中瀬 順介

主催：宮崎県スポーツ学会

共催：宮崎県整形外科医会, 久光製薬(株)

後援：宮崎県医師会

連絡先：宮崎大学医学部整形外科

☎0985-85-0986

CC(単位)：61(1.0)

日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位

参加費：1,000円

宮崎県医師会病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会

3月7日(土) 16:00~18:40 [現地]

シーガイアコンベンションセンター

「心をつなぐコミュニケーション
～選ばれる病院になるために～」

(株)Career Peko 代表取締役 横山 由美

主催：宮崎県医師会病院部会・医療法人部会

☎0985-22-5118

CC(単位)：0(1.0)

いろはに漢方

3月11日(水) 19:00~20:00 [Web]

「かかりつけ漢方養生医になるためのちぐさ式養生指導箋のすすめ

ジェンダーに着目した漢方治療

小青竜湯や婦人科3大処方の次の一手」

ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文

主催：宮崎県医師会東洋医会

共催：クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131

CC(単位)：83(1.0)

宮崎県医師会東洋医会学術講演会

3月14日(土) 17:30~19:00 [現地・Web]

KITENビル

「基礎研究およびリアルワールド臨床データを用
いての漢方薬の作用機序ならびに効果の解明
～六君子湯, 加味帰脾湯, 牛車腎気丸を中心に～」東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座 特任教授
東京慈恵会医科大学先端医学推進拠点群痛み脳科学センター
センター長

国立がん研究センター東病院

支持・緩和研究開発支援室 特任研究員

上園 保仁

主催：宮崎県医師会東洋医会

共催：(株)ツムラ ☎0985-28-9663

CC(単位)：83(1.5)

延岡医学会学術講演会

～心房細動と高血圧診療を考える～

3月27日(金) 19:00~20:30 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

「高齢化地域における心房細動のトータルマネジ
メント」

県立延岡病院 循環器内科 医長 伊藤 美和

「左室肥大合併高血圧の治療

ESES-LVH試験からみたエサキセレンンへの期待
～JSH2025の話題も含めて～」熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学
教授 辻田 賢一

主催：延岡医学会

共催：第一三共(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：43(0.5), 74(0.5)

第214回宮崎県眼科医会講習会

4月18日(土) 16:00~19:00 [現地]

KITENビル

「第2世代抗VEGF薬を用いた新生血管型加齢黄斑変性の治療戦略」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科

先進治療科学専攻 感覚器病学講座 眼科学分野
教授 寺崎 寛人

「近視進行抑制治療における自由診療」

はら眼科 院長 原 信哉

主催：宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015

共催：参天製薬(株), バイエル薬品(株)

CC(単位)：36(2.0)

参加費：3,000円

1月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年1月1日～1月23日

1. 科学的に証明されたすごい習慣大百科	堀 田 秀 吾	SBクリエイティブ
2. 変な地図	雨 穴	双 葉 社
3. 人間標本	湊 かなえ	角 川 文 庫
4. 僕には鳥の言葉がわかる	鈴 木 俊 貴	小 学 館
5. BUTTER	柚 木 麻 子	新 潮 文 庫
6. 覚悟の磨き方	池 田 貴 将	サンクチュアリ出版
7. めじろ鳴く	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
8. 成瀬は都を駆け抜ける	宮 島 未 奈	新 潮 社
9. 不夜脳	東 島 威 史	サンマーク出版
10. 私立探偵マニー・ムーン	リチャード・デミング	新 潮 文 庫

診療メモ



がん免疫とがんゲノム医療の現在地 ～ノーベル生理学・医学賞 坂口志文先生の Treg研究がもたらした臨床的視座～

にし だ たか ひろ
県立宮崎病院 外科 西 田 卓 弘

はじめに - ノーベル賞受賞と臨床への波及

2025年、大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授 坂口志文先生が「制御性T細胞 (regulatory T cell: Treg) の発見」によりノーベル生理学・医学賞を受賞された。Tregは免疫の“ブレーキ役”として炎症を鎮める一方、がんの場では抗腫瘍免疫を抑えてしまうことが知られている。近年は、がんゲノム医療の普及とともに、このTregの存在が治療成績を左右する場面が増えてきた。腫瘍の遺伝子変異と宿主免疫の関係を、外科医としてどのようにとらえるのか。本稿では、臨床に活かしやすい形で、両者のつながりを整理したい。

1 Tregとは何か - 免疫のバランスを保つ細胞

Tregは「免疫の暴走を防ぐ細胞」として働き、自己免疫疾患を防ぐためには欠かせない。しかし、がんの場では事情が異なる。腫瘍の周囲に多く存在すると、抗腫瘍免疫が弱まり、免疫治療の効果も得られにくくなる。つまり、Tregは体にとって必要不可欠な存在でありながら、がん治療の場では“味方にも敵にもなる細胞”という二面性を持つ。

2 がんゲノム医療とは - 腫瘍の特徴を遺伝子レベルで読む

近年、腫瘍がもつ遺伝子異常を網羅的に

解析する「がんゲノム医療」が普及した。FoundationOne CDx や NCCオンコパネルなどの遺伝子パネル検査により、

- どの分子標的薬が効くか
 - 免疫チェックポイント阻害薬が有効になりやすいか
 - 治験参加の可能性
- が明確になってきている。

しかし、ゲノムの情報だけを眺めていると見落としてしまう要素がある。それが、腫瘍を取り巻く“免疫の状況”，特にTregの存在である。

3 遺伝子変異とTreg - 実は密接につながっている

意外に思われるかもしれないが、腫瘍の遺伝子変異の種類によって、Tregが集まりやすい腫瘍かどうかがある程度決まってくる。

- KRAS変異：
TGF-β やIL-10といった免疫抑制性サイトカインを誘導し、Tregが増えやすい環境をつくる。
- BRAF変異：
腫瘍内に免疫抑制性ケモカインが増え、Tregが集積しやすい。
- PIK3CA/AKT経路の活性化：
Tregの生存に有利な代謝状態をつくる。
- MSI-H (高頻度マイクロサテライト不安定性)：
免疫反応は強いが、Tregも同時に増えるため、Tregが多すぎると免疫治療が効きにくく

なることがある。

このように、遺伝子変異とTregの関係を理解することは、治療方針を決めるうえで非常に有益である。

4 なぜTregが多いと免疫治療が効きにくいのか

免疫チェックポイント阻害薬は、T細胞の“アクセル”を踏むような治療である。しかし、どれだけアクセルを踏んでも、強力な“ブレーキ役”であるTregが多い場合、免疫は前に進まない。TregそのものにもPD-1やCTLA-4が発現しており、免疫治療の標的となることで、かえってTregが増えてしまうケースもある。外科臨床で経験する「MSI-Hなのに免疫治療が効かなかった症例」の背景には、このTregの存在が関わっている可能性がある。

5 Tregを標的とする治療 - 次のステージへ

現在、Tregを抑えることで免疫治療の効果を高める研究が進んでいる。

- CTLA-4阻害薬 (ipilimumab) :

Tregに高く発現するCTLA-4を介してTregを減らす効果がある。

- CCR4を標的とした抗体薬 (mogamulizumab) :

Tregを選択的に減らす作用が期待されている。

- OX40アゴニスト :

エフェクターT細胞を活性化しつつ、Tregの働きを弱める。

坂口先生のTreg研究を基盤とし、今後は“ブレーキを少し緩めて、アクセルをより踏む”ような治療戦略が現実味を帯びてきている。

6 外科医の立場から見た「がんゲノム×Treg」

外科診療でTregを意識する場面は増えている。例えば、

- 術後再発のリスクや免疫治療の効果を予測する
- 組織生検の質を確保し、ゲノム解析の精度を高める

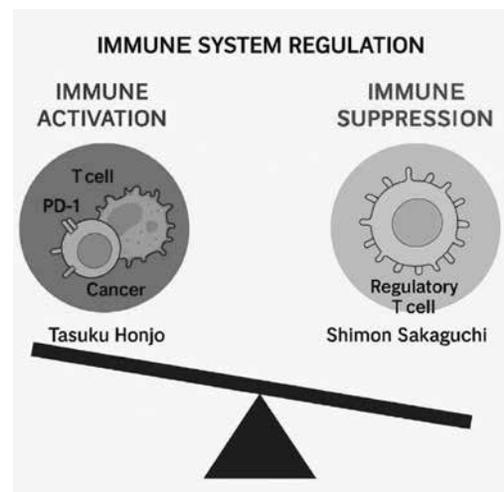
- BRAF変異やHER2増幅など、免疫抑制に関わる変異をとらえ治療戦略に活かすなど、外科医が果たす役割は大きい。

大腸癌では、MSI-H、BRAF変異、あるいは粘液癌など、免疫環境を特徴づける因子が多い。腫瘍の遺伝子変異と免疫環境の両方を理解することで、再発後の治療選択や治験紹介の質は大きく向上する。

おわりに

- 坂口理論と本庶理論の“統合”が今後の鍵

坂口先生のTreg研究は、「免疫には強める力と抑える力がある」という根本原理を明確にした。本庶佑先生が示したPD-1のメカニズムと並び、現代のがん免疫治療を支える二本柱と言える。がんゲノム医療により腫瘍の特性を遺伝子レベルで理解し、Tregを中心とした免疫環境と重ね合わせることで、より精密ながん治療が可能になる。今後のがん医療は、「腫瘍の遺伝子異常」と「宿主免疫の状態」を統合的に理解する時代へと確実に進んでいくだろう。坂口先生の受賞は、その流れを後押しし、臨床現場に新たな視座を与えてくれたと実感している。



宮大医学部学生のページ

子どもを救う医療の現場で
～東京慈恵会医科大学小児科実習を通して～宮崎大学医学部 医学科5年 ^{なが}永 ^{はら}原 ^{とも}智 ^み実

宮崎大学医学部医学科5年の永原智実です。私は将来小児科医になることを目標に医学部に入学しました。実家が千葉県にあり、地方で学ぶ立場から都市部の医療、特に高度専門医療とアカデミックな診療の現場に触れてみたいという思いが強く、今回、東京慈恵会医科大学附属病院小児科での臨床実習を希望しました。

慈恵大学小児科では4週間の実習を行い、前半2週間は血液・腫瘍グループ、後半2週間は総合診療グループに所属しました。血液疾患や悪性腫瘍といった高度専門領域から、IgA血管炎などの比較的頻度の高い疾患まで、非常に幅広い症例を経験することができました。

病棟では担当患者を持ち、毎日の問診や診察、カルテ作成を行いながら、カンファレンスにも参加しました。単なる見学にとどまらず、自分なりに病態を考え、治療方針を整理したうえでチームに共有する機会があり、学生であっても診療を行う一員として扱っていただいている実感がありました。また、病棟での各種処置の見学や補助を通して、医師の判断と手技がどのように実際の診療に結びついているのかを間近で学ぶことができました。

外来では一般外来だけでなく、1か月健診なども見学し、日常診療の中でいかに早期に異常を見つけるかという視点の重要性を学びました。病棟とは異なり、短い診察時間の中での確に情報を集め、判断する外来診療の難しさと奥深さを実感しました。

血液・腫瘍グループでは、再生不良性貧血の患児を担当しました。造血幹細胞移植後、徐々に元気を取り戻していく姿を目の当たりにし、子どもたちの生命を救う医療の尊さと同時に、その治療の難しさも強く感じました。また、骨髓穿刺を実際に見学できたことは、教科書で学んでいた知識が臨床の現場と結びつく貴重な経験でした。

総合診療グループでは、IgA血管炎の患児を担当しました。IgA血管炎は比較的よく見られる疾患でありながら、初期症状が多彩で、見逃されると重症化する可能性があります。一方で、適切に診断し治療を行えば速やかに改善することも多く、「きちんと見つけてあげること」の大切さを強く感じました。この経験から、小児科医が最初の窓口として果たす役割の重要性をあらためて実感しました。

慈恵大学小児科では、専門性の高い診療体制が整っており、小児科の中でさらに細かくグループが分かれ、多くの医師がそれぞれの専門分野で診療と研究に取り組んでいます。英語でのカンファレンスや文献検討も日常的に行われており、最新の文献をふまえた根拠に基づく医療が実践されていました。「アカデミックな医療」とはこういうものなのだと実感しました。

カンファレンスでは、学生の発言にも真摯に耳を傾けてくださり、「なぜそう考えたのか」を問われることで、自分の思考を言語化する力も鍛えられました。このような環境で学べたことは、今後医師として成長していくうえで大きな財産になると感じています。

一方で、専門性が高いからこそ、扱う症例の難易度も高く、医療の奥深さと同時にその責任の重さも感じました。こうした環境で学ぶことで、自分自身の知識や判断力の未熟さを痛感するとともに、より深く学びたいという気持ちが強くなりました。

また、実習を通して特に印象的だったのは、多職種が連携して一人の患者を支えている点でした。病棟では医師だけでなく、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、保育士などが頻繁に情報を共有し、それぞれの専門性を生かして診療にあたっていました。小児医療では、子ども本人だけでなく家族全体を支える視点が不可欠であり、そうしたチーム医療の重要性を実感しました。

指導医の先生方は、忙しい診療の中でも学生の質問に丁寧に答えてくださり、実習中も常に温かくご指導くださいました。学生を単なる見

学者ではなく、チームの一員として扱ってくださったことが、学びの質を大きく高めていたと感じています。

地方大学で学ぶ私にとって、都市部の高度専門医療の現場に身を置いたこの4週間は非常に貴重な経験でした。今後は、慈恵大学で学んだ専門性とアカデミックな視点を、将来地域医療の現場でどのように生かしていくかを考えながら、小児科医への道を歩んでいきたいと思います。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度診療報酬改定率について ・国民医療を守るための国民運動について（御礼） ・オンライン資格確認等システムのメンテナンスに伴う資格確認端末の再起動等の案内について（周知） ・令和7年度厚生労働科学研究「看護職員の需給推計方法検討のための研究」に係るアンケートについて（協力依頼） ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について（通知） ・今冬の急性呼吸器感染症（ARI）の感染拡大に備えた注意喚起について ・「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き2025年版」等の周知について ・医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和7年度の申請受付について（周知依頼） ・電子処方箋管理サービスにおける重複投薬等チェックを踏まえた対応について ・令和8年経済センサスー活動調査の事前周知について（依頼） ・令和8年度からの中規模非住宅建築物の省エネ基準の引き上げについて ・冬季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・フェンタニル等乱用薬物の早期検出及び拡大防止のための情報提供について（協力依頼） ・油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力依頼について ・「子ども予防接種週間」の実施に係る厚生労働省通知について ・令和7年度衛生環境研究所研究発表会の開催について（通知） ・令和7年度全国健康づくり推進学校表彰の表彰式・実践事例発表会の開催について（依頼） ・「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会（第4回）」及び「本人の意向を尊重した意思決定のための指導者研修会」について（依頼） ・タグラキソフスプ（遺伝子組換え）製剤の使用に当たっての留意事項について ・「エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について」の一部改正について ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について
1月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業の実施について ・令和6年度介護報酬改定を踏まえた高齢者施設等と協力医療機関との連携状況について ・社会保障審議会介護保険部会における「介護保険制度の見直しに関する意見」の公表について ・医師の宿直義務の例外規定について（通知） ・トリパンプルー染色液が原因と推測される真菌による眼内炎発症事例について

送付日	文 書 名
1月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定訪問看護事業者における医薬品の取扱いについて ・ 令和8年度産業医学基本講座受講のご案内について ・ 令和7年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」における「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」（第4回）及び「本人の意向を尊重した意思決定のための指導者研修会」の実施について ・ 令和7年度動物由来感染症対策技術研修会における質問とその回答について ・ 公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第83回報告書の公表について ・ 抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・ 抗IL-4受容体αサブユニット抗体製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・ オプスミット錠10mg, カルボプラチン注射液50mg「NK」, 同注射液150mg「NK」及び同注射液450mg「NK」, ケレンディア錠10mg及び同錠20mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について
1月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度訪問介護等サービス提供体制確保支援事業の実施について ・ 地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律に基づく都道府県計画及び市町村計画並びに地域医療介護総合確保基金の令和7年度の取扱いに関する留意事項について ・ 「適切なケアマネジメント手法の普及推進に向けた調査研究事業（令和7年度老人保健健康増進等事業）」における『「適切なケアマネジメント手法」の手引きその3』解説セミナーの動画等公開のご連絡について ・ 運転免許制度の運用に関する協力依頼について ・ 「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」について（再周知依頼） ・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・ 母子健康手帳の任意記載事項様式について ・ 「臓器提供の手續に係る質疑応答集（令和7年12月版）」について ・ 令和7年度厚生労働科学研究「看護職員の需給推計方法検討のための研究」に係るアンケートについて（協力依頼） ・ 「子ども虐待対応の手引き」の全部改正について ・ かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・ 要指導医薬品及び一般用医薬品の使用上の注意記載要領について ・ 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の一部改正について ・ 「検査料の点数の取扱いについて」の一部訂正に伴う差し替えについて ・ 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律等の施行等について（公布の日から起算して1年を超えない範囲内において政令で定める日（令和8年5月1日）施行事項関係）」及び「指定濫用防止医薬品の販売等について」

送付日	文 書 名
1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度厚生労働省補助事業「外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業」オンライン説明会（第2回）のご案内について ・美容所等におけるアートメイク施術について ・令和7年度介護事業所等及び介護施設等に対するサービス継続支援事業の実施について ・救急現場における精神科的問題の初期対応研修（第17回宮崎PEECコース）の開催について（依頼） ・「機能性表示食品等に係る健康被害の情報提供について」の一部改正について ・「指定成分等含有食品に関する留意事項について」の一部改正について ・「いわゆる「健康食品」・無承認無許可医薬品健康被害防止対応要領について」の一部改正について
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度診療報酬改定に係る諮問書及び議論の整理の送付並びにパブリックコメント募集へのご投稿について（依頼） ・休日夜間応急診療所における救急時医療情報閲覧のニーズ把握に係るアンケートについて（協力依頼） ・オンライン申請の対象となる施設基準の追加について ・介護分野の業務効率化に資する汎用機器の導入に向けた省力化補助金の活用について ・「情報通信機器を用いた精神療法の適切な実施に関する指針」の策定について ・医師法第17条，歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について（その3） ・HPVワクチン接種に係る医療機関向け研修会の開催について ・日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」第5回シンポジウムの開催について（御礼） ・「第6回福岡県ワンヘルス国際フォーラム」の開催について ・プレコンサポーター養成講座の開始等について（依頼） ・「使用上の注意」の改訂について ・要指導医薬品及び一般用医薬品の添付文書記載要領について ・要指導医薬品及び一般用医薬品の添付文書記載要領の留意事項について ・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・セプター通信（CEPTOAR通信）の発出について（理事長・院長や医師会役員を騙るビジネスメール詐欺への注意喚起） ・介護事業所等及び介護施設等に対するサービス継続支援事業に関する交付要綱及び実施要綱等について ・黄熱予防接種巡回診療の開始について ・「抗微生物薬適正使用の手引き第四版」の周知について

送付日	文 書 名
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・トリパンブルー染色液が原因と推測される真菌による眼内炎発症事例について（通知） ・令和7年度宮崎県中央保健所健康づくり指導者研修会の開催について（通知） ・内閣感染症危機管理統括庁主催シンポジウムについて（情報提供） ・「令和7年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内 ・令和7年度第1回医療政策研修会の開催について ・日本医師会第20回男女共同参画フォーラムの開催について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正） ・「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業に関するQ&A（第1版）」の送付について ・後期高齢者医療広域連合及び市町村が実施する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る協力依頼について ・LDTsの臨床実装に係る精度管理の基準等について（通知） ・ヒト乾燥硬膜を使用された患者に係る診療録等の長期保存について（再周知） ・令和7年度日本学校保健会事業報告会の開催について（依頼） ・2月中のベースアップ評価料の届出をご検討ください ・令和7年度医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業の実施について ・介護福祉士国家試験のパート合格（合格パートの受験免除）による介護分野で「特定技能1号」の在留資格をもって本邦に在留する外国人の通算在留期間の延長に関する措置について ・特別上映イベント「2026オーケストラの夕べ」に関する周知のご依頼 ・花粉症予防行動に関する普及啓発について ・要指導医薬品として指定された医薬品について ・がん検診精密検査の受診勧奨資材を用いた受診勧奨の徹底について ・「運動・スポーツにおける安全対策の評価・改善のためのガイドライン」の周知及び活用について（依頼） ・エチオピア連邦民主共和国におけるマールブルグ病の終息について（情報提供） ・「医療対話推進者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針－説明と対話の文化の醸成のために－」の改定について ・「抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について」の一部訂正について ・「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について」の一部訂正について ・後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の全部改正について ・予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



11月17日から4週間にわたり西白杵郡にて地域包括ケア実習を行い、高千穂町国民健康保険病院にて2週間、五ヶ瀬町国民健康保険病院にて1週間、日之影町国民健康保険病院にて1週間、実習させていただきました。

高千穂町国民健康保険病院では、児童精神外来や小児科外来を多く見学させていただきました。大学病院では

重症の患者さんが多く、学生が小児の診察を実際に行う機会は限られていますが、本実習では実際に診察する機会を頂き、大変貴重な経験となりました。

五ヶ瀬町国民健康保険病院では、毎日採血を経験させていただきました。それまでも採血の機会は何度ありましたが、なかなかコツをつかめずにいました。本実習では看護師の方々が、シリンジの持ち方や血管の探し方など、基礎から実践的なポイントまで丁寧に教えてくださり、この経験を通してかなり採血手技に慣れることができたと感じています。

日之影町国民健康保険病院では、訪問看護や訪問リハビリを多く経験させていただきました。訪問前日に先生がカルテと一緒に確認し、患者さんの情報を事前に共有してくださったことで、患者さんの背景を理解したうえで訪問に臨むことができ、より深く学びを得ることができました。

今回の地域包括ケア実習で初めて西白杵郡で生活し、4週間にわたり地域医療の現場を拝見しましたが、先生方やスタッフの方々と地域の方々の信頼関係の深さや、病院と地域の各機関との連携を知ることができ、大変貴重な経験となりました。(家村)

* * *

プロレスファンの私は今回、久しぶりに紅白歌合戦を楽しみました。永ちゃん、しびれましたね。まさか会場にまで登場してくるとは。さらに驚かされたのは、出演17分後に娘さんがXで《もう帰ってるから母親がバタバタ》とポストしたことです。松田聖子さんの歌にも感動しました。自分がやりたいことを全うし、人に喜ばれ、社会の役に立ち、評価は後からついてくる。かっこいいなあ。そういう人生を過ごしていきたいですね。(石田)

* * *

当院小児科の年末の在宅医では、受診した患者さんの9割近くにインフルエンザ迅速検査を行いました。検査は鼻腔ぬぐい液を採取しますが、痛いし嘔気を誘発することもあるのがつらいところです。採取時に大泣きすることも多く、唾液や吐物でさらに感染が広がるのも懸念されます。小さい子どもは発熱しやすく、1シーズンに複数回の検査をすることも珍しくありませんが、子どもにも使用できる痛くない検査があればいいなと思います。(横山)

* * *

今年の干支は丙午で、60年前に生まれた私と同一、つまり今年が還暦になります。その半分以上の人生を医師として生きてきました。60年前に生まれた当時のことは何もわかりませんが、34年前に医師になってからは2度の大地震、携帯電話の登場、カルテの電子化、新型コロナウイルスの蔓延など大きな出来事がありました。そしてAIの登場により私たちの生活に大きな影響を与えています。次の60年後、すでに私はこの世にいませんが、世界はそして日本は一体どうなっていくのでしょうか。(高橋)

52歳男性、やや肥満。アレルギー性鼻炎治療歴あり。SAS検査では最低SpO₂や最大無呼吸時間の結果は自分でも驚く数値でした。新年早々、CPAP治療のスタートホイッスルが鳴りましたが、冬の乾燥や鼻閉、飲酒の影響など課題は山積みです。馬は眠っても鞍を忘れずといいますが、干支にあやかり、まずは「CPAPを使いこなしてよく眠る」ことを現実的な抱負としたいと思います。ご自身の睡眠に心当たりのある方は、早めの睡眠外来受診も一考かと思えます。(永野)

* * *

高校3年間だけ取り組んでいたハンドボールを、大学の同校友会として初めて参加しました。足の動きは少しぎこちなかったものの、体が覚えている感覚もあり、サイドシュートを打つことができました。久しぶりにプレーしてみると、やはりハンドボールは楽しく、眠っていた情熱が再び動き出したように感じました。(野間)

* * *

1月15日付けの日経新聞に「厚生労働省は病院や診療所に医師、看護師らの給与の開示を義務付ける議論に着手する」との記事がありました。2027年中にも実施するとみられています。これに対して日本医師会は「個人情報を出さずすることになる」と反対しています。個人や医療機関の名前が公表されることはないかと思いますが、診療報酬引き下げの圧力になる可能性があり、注視する必要があるようです。

(佐々木)

今月のトピックス

新春随想

各先生方からさまざまな話題のエッセイが寄稿されております。台湾旅行、今のうちに行ってみたいです。 6 ページ

身近なお困りごと相談室

あるんですよ、処置後に返って悪くなったとの訴えが。今後の対応に参考になります。 17 ページ

宮崎大学医学部だより

東美菜子教授による放射線医学教室の紹介です。PSMA陽性の遠隔転移を有するCRPCに対する内照射療法に期待しております。 24 ページ

診療メモ がん免疫とがんゲノム医療の現在地～ノーベル生理学・医学賞 坂口志文先生のTreg研究がもたらした臨床的視座～
ノーベル生理学・医学賞受賞の坂口志文先生の「制御性T細胞（Treg）の発見」についての解説です。「免疫には強める力と抑える力がある」という根本原理を明確にしたとのことです。 52 ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第918号 (令和8年2月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,

國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)